

東洋大学

2026 年度

総合型選抜

基礎学力テスト型入試 併願可能

入学試験要項

インターネット登録による出願となります。

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>

この「入学試験要項」には、出願から入学
手続までのすべての事項が記載してあります
ので、よく読んで手続に間違いのないよう十
分に注意してください。

なお、この「入学試験要項」の内容に変更、
訂正等が生じた場合および、大規模な自然災
害等が発生したことにより特別措置を講じる
場合は、その内容を本学入試情報サイトに随
時掲載します。

出願登録時の操作に関するお問い合わせ

インターネット出願 サポートセンター
TEL 0120-752-257

2025/10/26 (日)～2025/11/4 (火) 9:00～20:00

※こちらのサポートセンターは、インターネット出願ページの操作に
関するお問い合わせ専用のものとなります。東洋大学入試部にはつ
ながりませんのでご注意ください。



東洋大学

目次

概要

感染症等の影響による2026年度入学試験における対応について	1
2026年度入学生 入学時における学部・学科構成、修学キャンパス	3
大学入学資格	4
出願資格	5
試験日程	5
試験時間割	5
英語外部試験利用制度	6
併願制度	7
試験会場	8
学部・学科別入試一覧	20

出願

出願の流れ	26
出願書類	27
小論文課題	30
出願の際の注意事項	30
出願後の個人情報変更	30
入学検定料	31
入学検定料の返還	32
受験上の配慮	33
受験票	34

受験

試験当日の注意事項	35
試験時間中の注意事項	36

合格発表・入学手続

合格発表	38
入学手続	38
繰上合格について	39
学費振替制度	40
入学手続後の入学辞退と納付金の返還	40

その他

納付金	41
高等教育の修学支援新制度について	42
教育ローン等について	44
在留資格(日本国以外の国籍を有する者)	45
問い合わせ先	46

【個人情報の取り扱いについて】

出願に際して提出された住所、氏名、その他の個人情報は、①出願受付、②入学試験実施、③合格発表、④入学手続、⑤入学前の事前教育等と、これらに付随する事項を目的としてのみ使用します。

なお、これらの業務の一部を、東洋大学が指定した業者に委託します。

業務委託にあたり、同業者に対して、提供して頂いた個人情報を提供することがあります。

試験後、試験会場で感染症等の存在が判明した場合は、保健所等の行政機関へ個人情報を提供する場合があります。



感染症等の影響による2026年度入学試験 における対応について

- 感染症等の感染拡大や緊急事態宣言の発令等により、やむを得ず、試験日や選抜方法等、本書に記載されている内容を変更する場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト (<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>) 等にてお知らせします。

2026年度入学生 入学時における学部・学科構成、修学キャンパス

学部・学科（専攻）			修学キャンパス
文学部 哲学科 東洋思想文化学科 日本文学文化学科 英米文学科 史学科 教育学科（人間発達専攻） 教育学科（初等教育専攻） 国際文化コミュニケーション学科 東洋思想文化学科【イブニングコース】 日本文学文化学科【イブニングコース】 教育学科【イブニングコース】	経済学部 経済学科 国際経済学科 総合政策学科 経済学科【イブニングコース】 経営学部 経営学科 マーケティング学科 会計ファイナンス学科 経営学科【イブニングコース】 法学部 法律学科 企業法学科 法律学科【イブニングコース】	社会学部 社会学科 国際社会学科 メディアコミュニケーション学科 社会心理学科 社会学科【イブニングコース】 国際学部 グローバル・イノベーション学科 国際地域学科（国際地域専攻） 国際地域学科（地域総合専攻）【イブニングコース】 国際観光学部 国際観光学科	白山キャンパス
情報連携学部 情報連携学科	福祉社会デザイン学部 社会福祉学科 子ども支援学科 人間環境デザイン学科	健康スポーツ科学部 健康スポーツ科学科 栄養科学科	赤羽台キャンパス
理工学部 機械工学科 電気電子情報工学科 応用化学科 都市環境デザイン学科 建築学科	総合情報学部 総合情報学科（メディア情報専攻） 総合情報学科（心理・スポーツ情報専攻） 総合情報学科（システム情報専攻）		川越キャンパス
生命科学部 生命科学科 生体医工学科 生物資源学科	食環境科学部 食環境科学科 フードデータサイエンス学科 健康栄養学科		朝霞キャンパス

大学入学資格

- ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- ② 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
- ③ 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
- ④ 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
- ⑤ 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
- ⑥ 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣により指定された準備教育課程を修了する必要がある。）
- ⑦ 高等学校と同等と文部科学大臣により認定された在外教育施設の課程を修了した者
- ⑧ 文部科学大臣により指定された専修学校の高等課程を修了した者
- ⑨ 旧制学校等を修了した者
- ⑩ 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有する者
- ⑪ 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者
※ CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
- ⑫ 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者（なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。）
- ⑬ 大学において個別の入学資格審査により認めた18歳以上の者

※ 出願資格に関しては、次ページに詳細が記載されていますので確認してください。

※ 学部・学科（専攻）のアドミッションポリシー（入学者受入れの方針）は、本学入試情報サイトに掲載していますので出願時に必ず確認してください。

※ 日本国以外の国籍を有する志願者が、第2部・イブニングコース（夜）へ入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。

※ 大学入学資格⑬に該当する者は、以下の(1)の通りです。対象者は、以下の(2)の手続を行ってください。なお、大学入学資格①～⑫に該当する者は、この手続を行う必要はありません。

(1) 入学資格審査対象者

個別の入学資格審査の対象者は、上記大学入学資格①～⑫に該当しない者のうち、「外国人を対象に教育を行うことを目的としてわが国に設置された教育施設において高等学校に対応する3年間に相当する学習歴を有する者または（2026年3月31日までに）有する見込みのある者」のみです。この対象者以外の者については、個別の入学資格審査は実施しません。なお、一部出願できない推薦入試もあります。

(2) 入学資格審査の申請手続について

入学を志望する学部・学科（専攻）の入学試験への出願を以て入学資格審査の申請手続とみなします。審査の結果、大学入学資格を有すると認められ、かつ学部・学科（専攻）個別の出願資格を満たしていると認められた受験生には、マイページより受験票を発行します（審査結果通知は郵送しません）。

出願資格

大学入学資格を有する者、または2026年3月31日までに有する見込者。

※大学入学資格はP.4参照。

(注1) 東洋大学の以下の専願のみを対象とした入学試験を出願した場合は受験することができません。

また、本入学試験を受験した場合は、以下の専願のみを対象とした入学試験の出願は受理できません。

- ・10月19日実施※：AO型推薦入試、自己推薦入試、外国にルーツを持つ生徒対象入試
- ・11月23日実施：AO型推薦入試、自己推薦入試、学校推薦入試総合評価型、「独立自活」支援推薦入試
- ・12月14日実施：AO型推薦入試、自己推薦入試、学校推薦入試総合評価型

※10月19日実施の入学試験にて不合格だった場合のみ出願および受験が可能です。

(注2) 出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時までには要件を満たせなかった場合または、合格発表後等に出願資格および出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合、入学することはできません。

試験日程

出願期間(郵送・消印有効)	試験日	合格発表※1	入学手続締切日	試験会場
10月29日(水)～11月4日(火)	11月30日(日)	12月15日(月)	第1次：12月19日(金) 第2次：2月27日(金)	P.8～19参照

※1 合格発表公開開始時間10:00を予定。

出願期間最終日の注意点

出願を完了するためには、「インターネット出願登録」「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となります。「インターネット出願登録」は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、インターネット出願登録後に「入学検定料の支払い」「出願書類の郵送」が必要となりますので、出願期間内にすべての手続が完了するように、余裕をもって行ってください。また、「インターネット出願登録」では、**試験科目の小論文課題登録(P.30参照)が必須となります。小論文課題の入力が終了しなければ、インターネット出願登録を完了することができません。**

試験時間割

試験日	集合	説明	1時限(10:00～11:00)	2時限(11:30～12:30)
11月30日(日)	9:40	9:40～10:00	国語 / 現代の国語, 言語文化 数学 / 数学(I, II, A, B, C)	外国語 / 英語※1

※上記時間割中の科目名は、それぞれの時限で配付する問題冊子に掲載されている科目です。

※受験科目は、学科(専攻)方式ごとに異なります。P.20からの「学部・学科別入試一覧」で確認してください。

※1 出願時に、英語外部試験の利用を申請している場合、本学の英語試験の受験は必須ではありません。

(英語外部試験利用に関する詳細は、P.6「英語外部試験利用制度」を参照)

英語外部試験利用制度

基礎学力テスト型入試では、**全方式**で英語外部試験スコアを利用（本学の英語科目の得点に換算）することができます。英語外部試験の利用を申請する志願者は、**初回出願のインターネット出願登録時**に英語外部試験の種別およびそのスコアを登録し、出願書類郵送時にその結果を証明する書類を同封してください。

※出願期間内に証明書を提出できることが利用申請の条件となります。必ず証明書が手元にあることを確認し申請を行ってください。各英語外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

英語外部試験の利用申請は、基礎学力テスト型入試においては、初回出願※の際に一度しか行えないため注意してください。

※出願書類の郵送前であっても、入学検定料を納入した時点で利用申請の有無は確定となり、以降の変更はできません。

初回出願で利用を選択した場合 … 2回目以降の追加出願の際は、自動的に英語外部試験利用が適用されます。

初回出願で利用を選択しなかった場合 … 2回目以降の追加出願の際には英語外部試験利用を選択することはできません。

英語外部試験は本学の基準に従い、「英語」科目の得点に換算します。**英語外部試験の利用を申請した場合でも、試験日当日に英語科目を受験することができます。その場合は、どちらか高得点の結果を判定に採用します。**

申請後、英語外部試験の利用が認められた受験生の受験票には、その旨が記載されます。

【利用可能な英語外部試験】

実用英語技能検定(英検®) ※従来型を含む全方式 2023年12月以降に1級・準1級・2級のいずれかを受験（一次試験のみ、二次試験のみでも可）し、右記のスコアを取得していること（不合格でも可）。
GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ) 2023年12月以降に受験したもの。
TEAP(4技能) （TEAP CBTは対象外） 2023年12月以降に受験したもの。 ただし、同一試験日のスコア合計点のみ有効。
IELTS™ 2023年12月以降に受験したもの。 （アカデミック・モジュールのみ対象）

対象学部		全学部			
入試日程・方式		基礎学力テスト型入試全方式（  マークのある入試 * 1）			
試験名		実用英語技能検定(英検®) ※従来型を含む全方式	GTEC (CBTタイプ、検定版 Advancedタイプ)	TEAP (4技能)	IELTS™
みなし 得点(素点) 英語科目	100点換算	2,304	1,180	309	6.0
	90点換算	2,150	1,050	253	5.5
	80点換算	1,980	960	225	5.0

* 1  マークは「学部・学科別入試一覧」の備考欄に記載しています。P.21～25
 ※今後実施予定の資格・検定試験の追加や、みなし得点が変わる場合があります。
 ※感染症等の感染拡大等の影響により変更となる場合があります。

スコアは下限

英語外部試験スコアの提出について

英語外部試験のスコアを利用する場合は、**インターネット出願時に、方式数にかかわらず1部提出**してください。

紙の証明書はコピーによる提出を認めます（**学校長の証明書等は必要ありません**）が、追加出願する場合も、改めて証明書の同封が必要となります。

紙の証明書は各発行機関から受験生自身の手元に取り寄せることとし、本学を指定通知先と設定した場合は、出願書類として認められません。

出願書類は返却しませんので、原本提出の際はご注意ください。

基礎学力テスト型入試の出願より前に東洋大学の他の入学試験に出願した方も、改めて証明書を提出する必要があります。

※デジタル証明書、紙の証明書とも、基礎学力テスト型入試の追加出願時には初回出願で提出したスコアから、別の受験回のスコアに変更することはできません。

※出願期間内に以下の証明書を提出できることが利用申請の条件となります。各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

試験名	提出する証明書		利用可能な期間
① 実用英語技能検定 デジタル証明書、紙の証明書のいずれかを提出	デジタル証明書	デジタル合格証明書 または デジタル英検 CSE スコア証明書 ※デジタル合格証明書等のプレビュー画面を印刷したものは受理しません。 英検® 受験者マイページから取得した「共有キー」を初回のインターネット出願時に入力してください。不合格で、基準に達している CSE スコアを利用する場合は「英検 CSE スコア証明書」の発行申請が必要です。申請後、デジタル英検 CSE スコア証明書の発行までに時間を要する場合がありますので余裕をもって準備してください。	2023年12月以降に英語外部試験を受験し、対象となる入試の初回出願時までに証明書を入手できる受験回のもの
	紙の証明書	次の書類のうち、いずれか一つを提出してください。 ・実用英語技能検定合格証明書 ・英検 CSE スコア証明書 ・実用英語技能検定個人成績表 ※デジタル合格証明書等のプレビュー画面を印刷したものは受理しません。	
② GTEC CBTタイプ GTEC 検定版 Advancedタイプ		OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	
② TEAP		成績表 (Official Score Report)	
③ IELTS™		成績証明書 (Test Report Form) ※試験実施団体からの電子送信によるスコアの直送は受理しません。	

・各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。

・英語外部試験のスコアは、各試験実施団体に照会します。

併願制度

基礎学力テスト型入試では、学部・学科の枠を越えて、複数の学部・学科（専攻）・入試方式を併願することが可能です。（受験する科目により学部・学科（専攻）間での併願の可否が異なります）

入学検定料は2出願まで一律35,000円、3出願目以降は1出願につき一律20,000円です。



併願の例

- 理工学部 電気電子情報工学科
【基礎学力テスト型入試2教科均等配点型】
- 生命科学部 生体医工学科
【基礎学力テスト型入試2教科均等配点型】
- 情報連携学部 情報連携学科
【基礎学力テスト型入試2教科均等配点型】



試験会場

入学試験は、以下の会場で実施します。★印を付した会場は、志願状況により追加で会場を設置する場合があります。また、試験会場については、今後追加する場合があります。決定次第、東洋大学入試情報サイト (<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>) 等にてお知らせします。

会場名		掲載ページ
東京	白山キャンパス	P. 9
	赤羽台キャンパス	P. 9
	町田	P.10
★埼玉	朝霞キャンパス	P.10
	川越キャンパス	P.11
札幌		P.11
仙台		P.12
郡山		P.12
水戸		P.13
宇都宮		P.13
高崎		P.14
千葉		P.14
★横浜		P.15
新潟		P.16
金沢		P.16
長野		P.17
静岡		P.17
名古屋		P.18
大阪		P.18
広島		P.19
福岡		P.19

★埼玉…本学朝霞キャンパスの収容定員を上回った場合等に、本学川越キャンパスを追加で設置することがあります。

★横浜…「河合塾横浜校」の収容定員を上回った場合等に、「TKP ガーデンシティPREMIUM みなとみらい」を追加で設置することがあります。
そのため、試験会場は、必ず受験票で確認し、試験前日までに各自で交通機関の経路をご確認ください。

※★印を付した会場等、追加で試験会場を設置した場合、受験生の居住地等は考慮いたしません。

※受験票の発行より前に、試験会場についての問い合わせには一切応じられません。

※試験会場の収容定員を上回った場合、希望する試験会場を選択できないことがあります。

※各試験場の開門時間は8時30分です。

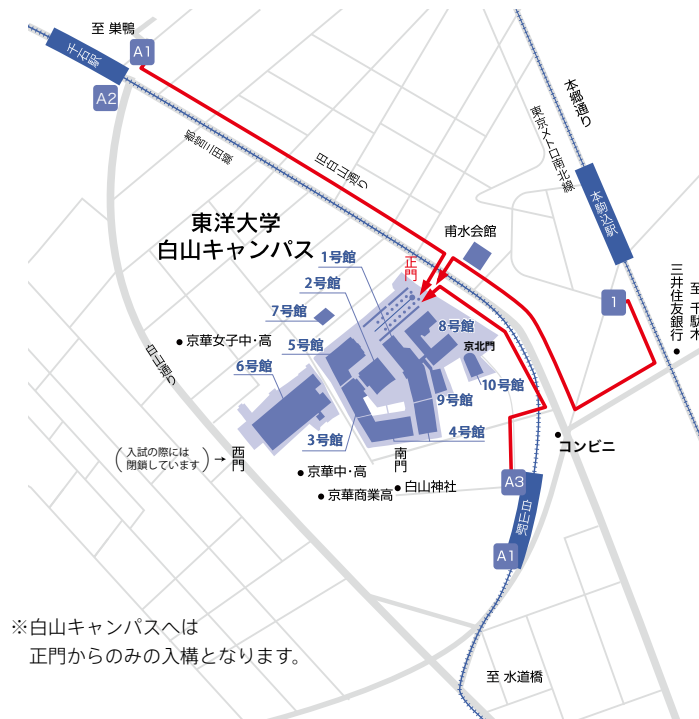
※試験会場を間違えると受験できません。

※どの試験会場でも、同一問題・同一時刻で試験を実施しますので、受験する会場による有利、不利はありません。

※掲載している地図は2025年7月現在のもので、建物名称等が変更されている場合があります。

※公共の交通機関を利用して来場してください。原則として、試験会場には駐車場を用意していません。

会場名	東京
施設名	東洋大学 白山キャンパス
住所	文京区白山5-28-20
アクセス	都営地下鉄三田線「白山」駅下車、A3出口より徒歩5分 都営地下鉄三田線「千石」駅下車、A1出口より徒歩8分 東京メトロ南北線「本駒込」駅下車、1番出口より徒歩5分



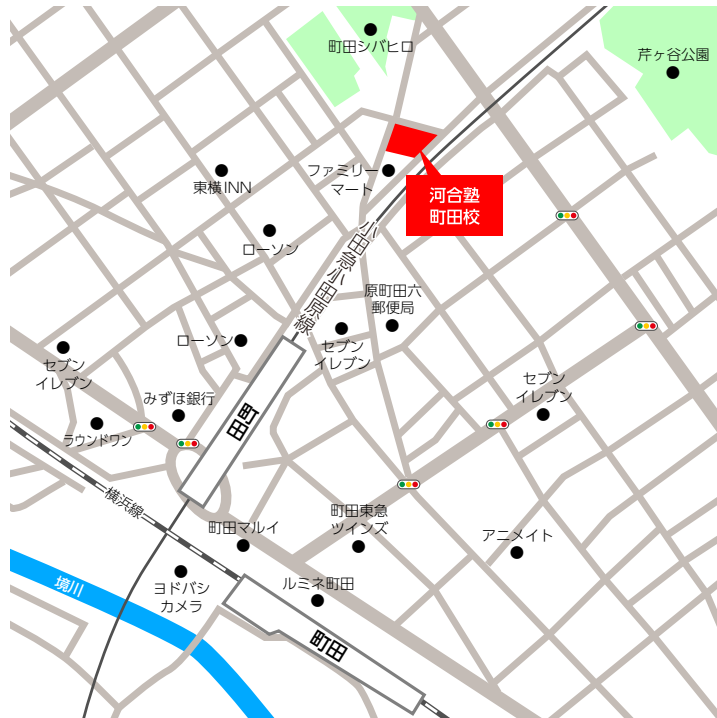
※白山キャンパスへは
正門からのみの入構となります。

会場名	東京
施設名	東洋大学 赤羽台キャンパス (INIAD HUB-1、WELLB HUB-2、HELSP HUB-3)
住所	北区赤羽台1-7-11
アクセス	JR「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分 東京メトロ南北線/埼玉高速鉄道線「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分



※建物によって入構口が異なります。

会場名	東京 (町田)
施設名	河合塾 町田校
住所	町田市中町 1-18-6
アクセス	小田急線「町田」駅下車、北口より徒歩3分 JR「町田」駅下車、北口より徒歩7分



会場名	埼玉
施設名	東洋大学 朝霞キャンパス
住所	朝霞市岡 48-1
アクセス	東武東上線「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分 JR 武蔵野線「北朝霞」駅下車、徒歩10分

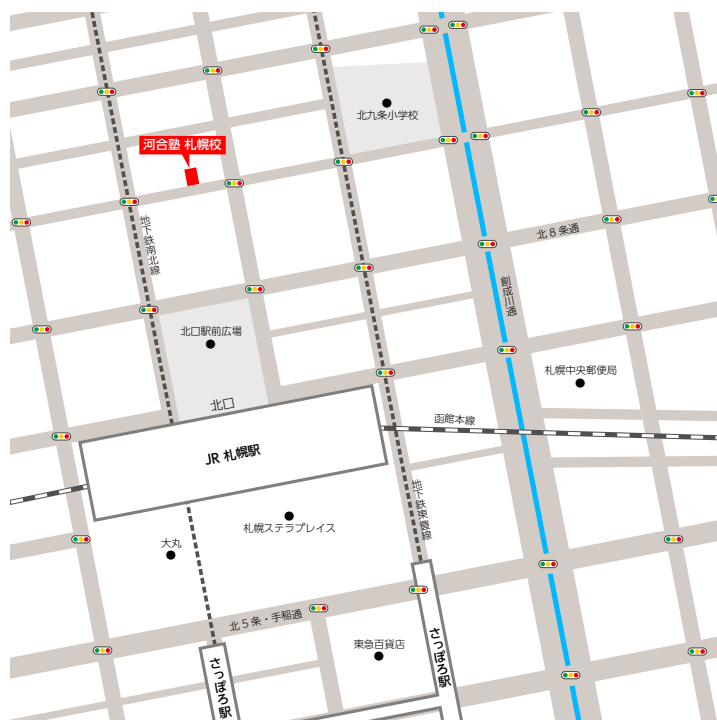


会 場 名	埼玉
施 設 名	東洋大学 川越キャンパス
住 所	川越市鯨井 2100
アクセス	東武東上線「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分

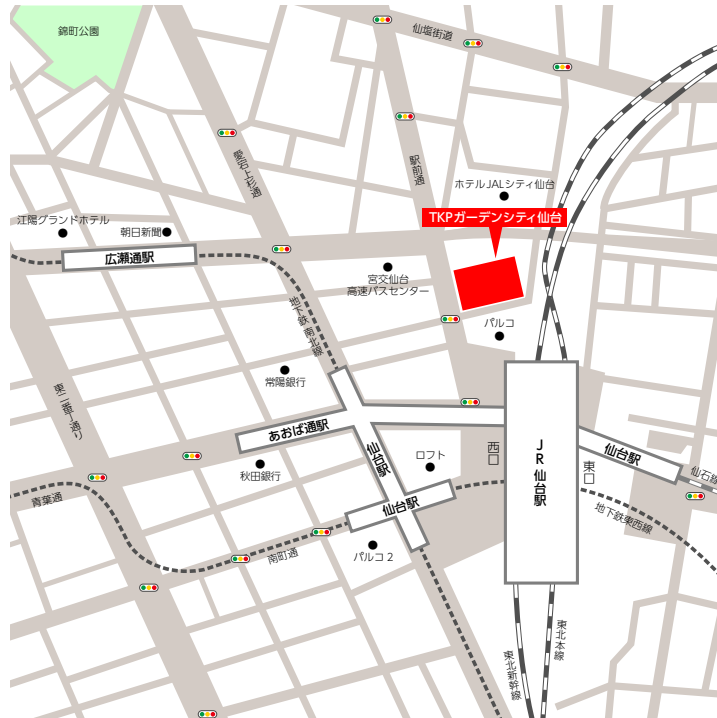
※本学朝霞キャンパスの収容定員を上回った場合等に、追加で設置することがあります。



会 場 名	札幌
施 設 名	河合塾 札幌校
住 所	札幌市北区北9条西3-3
アクセス	JR「札幌」駅下車、北口より徒歩4分



会場名 仙台
 施設名 TKPガーデンシティ仙台 (AER内)
 住所 仙台市青葉区中央1-3-1
 アクセス JR「仙台」駅下車、西口より徒歩2分



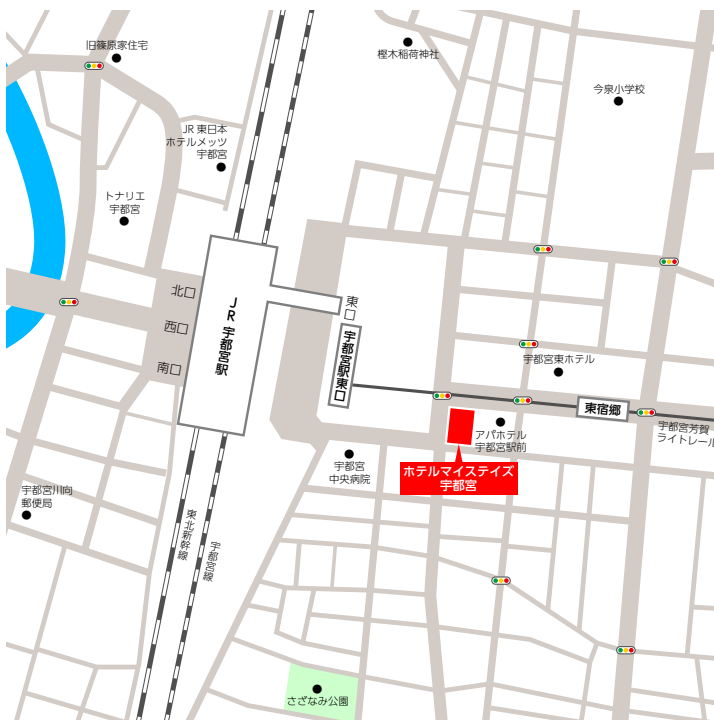
会場名 郡山
 施設名 駿優予備学校 郡山校
 住所 郡山市駅前1-12-6
 アクセス JR「郡山」駅下車、西口より徒歩4分



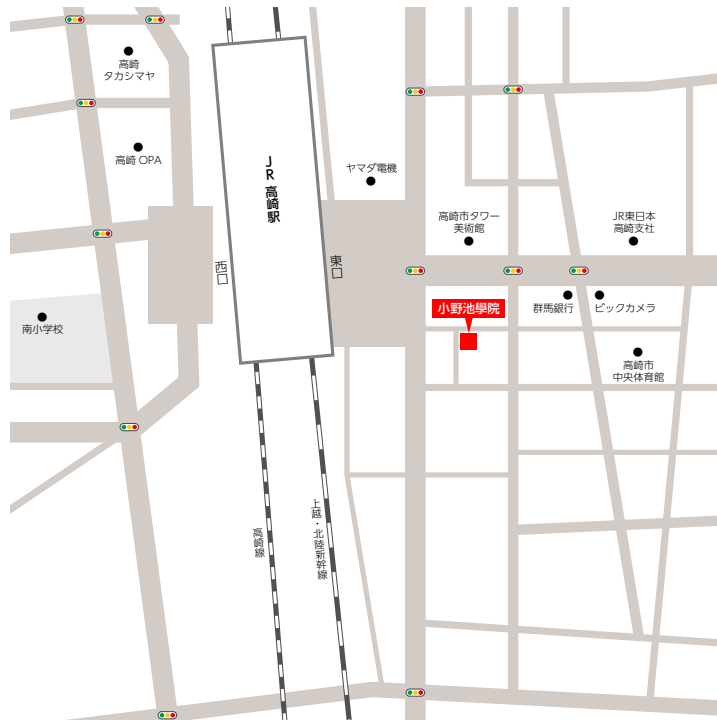
会場名	水戸
施設名	水戸駿優予備学校
住 所	水戸市三の丸 1-1-42
アクセス	JR「水戸」駅下車、北口より徒歩 3 分



会場名	宇都宮
施設名	ホテルマイステイズ宇都宮
住所	宇都宮市東宿郷2-4-1
アクセス	JR「宇都宮」駅下車、東口より徒歩3分



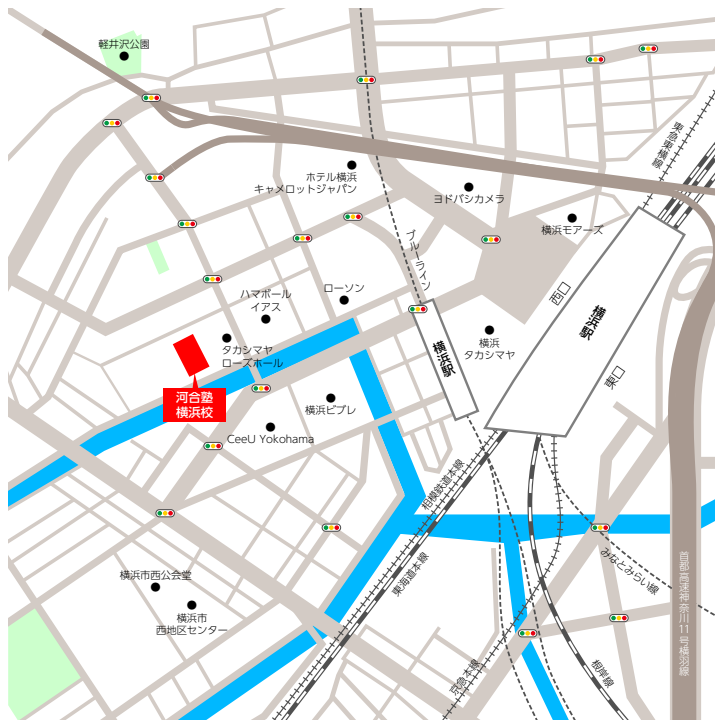
会場名 高崎
 施設名 小野池学院
 住所 高崎市栄町15-3
 アクセス JR「高崎」駅下車、東口より徒歩5分



会場名 千葉
 施設名 千葉工業大学 津田沼キャンパス 6号館 **入場は正門のみ**
 住所 習志野市津田沼2-17-1
 アクセス JR「津田沼」駅下車、南口より徒歩1分
 京成松戸線「新津田沼」駅下車徒歩3分
 京成本線・千葉線「京成津田沼」駅下車徒歩10分



会場名	横浜
施設名	河合塾 横浜校
住所	横浜市区西北幸2-11-6
アクセス	JR・東急東横線・みなとみらい線・京急本線・相鉄線「横浜」駅下車、 みなみ西口より徒歩6分、西口より徒歩7分 横浜市営地下鉄ブルーライン「横浜」駅下車、出口9より徒歩4分

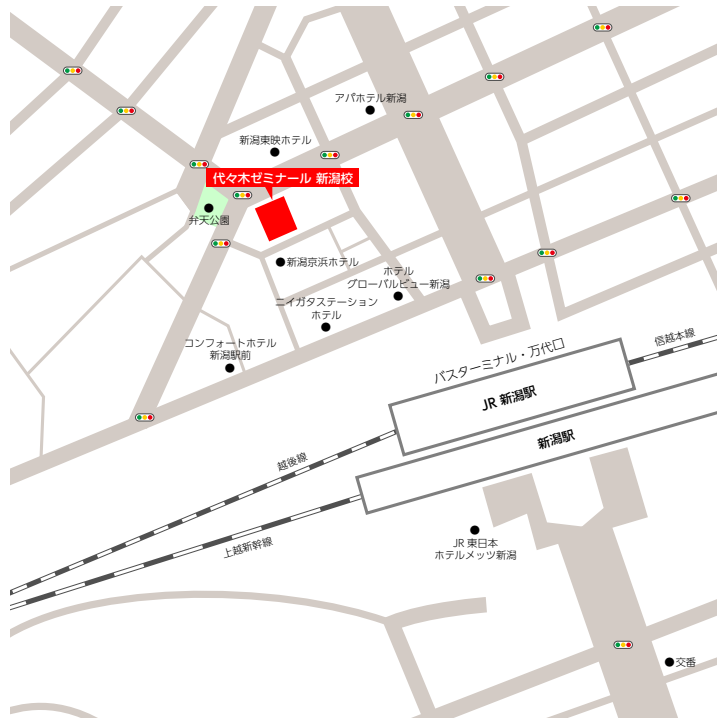


会場名	横浜
施設名	TKP ガーデンシティPREMIUM みなとみらい
住所	横浜市 西区みなとみらい3-6-3 MMパークビル5階・6階
アクセス	みなとみらい線「みなとみらい」駅下車、4a出口より徒歩1分 JR・横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町」駅下車、北1出口より 徒歩15分

※「河合塾横浜校」の収容定員を上回った場合に、追加で設置することがあります。



会場名 新潟
 施設名 代々木ゼミナール 新潟校
 住所 新潟市中央区弁天1-4-18
 アクセス JR「新潟」駅下車、万代口より徒歩3分



会場名 金沢
 施設名 金沢医療技術専門学校
 住所 金沢市堀川新町 7-1
 アクセス JR「金沢」駅下車、兼六園口より徒歩5分

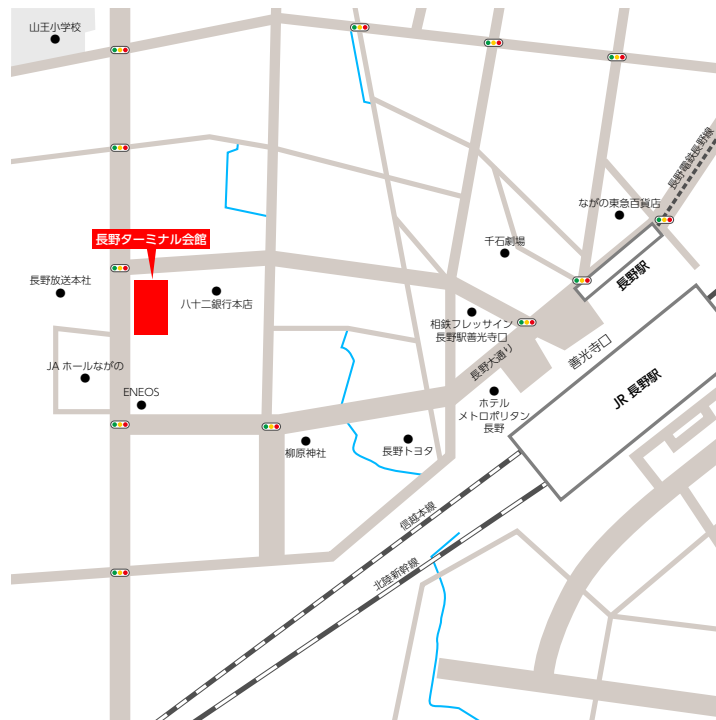


会場名 長野

施設名 長野ターミナル会館

住所 長野市中御所岡田町178-2

アクセス JR「長野」駅下車、善光寺口より徒歩8分

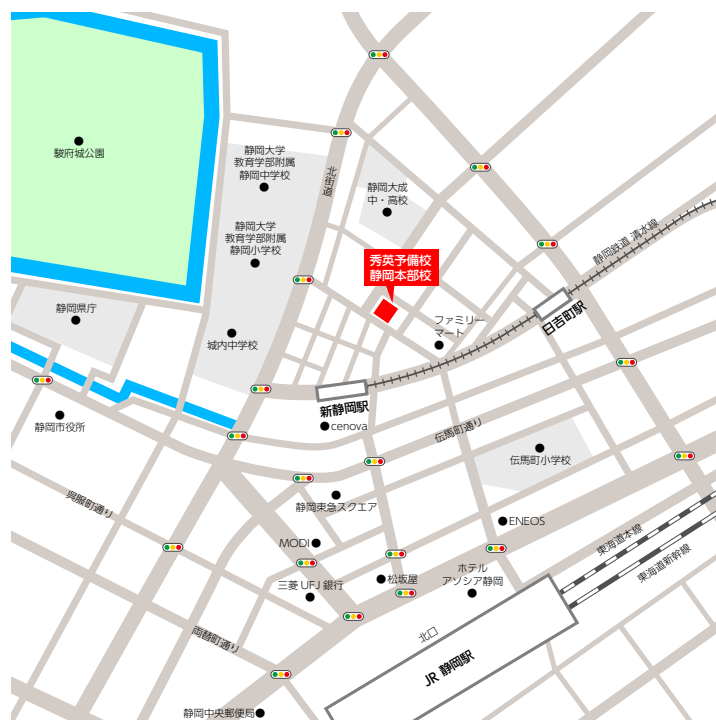


会場名 静岡

施設名 秀英予備校 静岡本拠校

住所 静岡市葵区鷹匠2-7-1

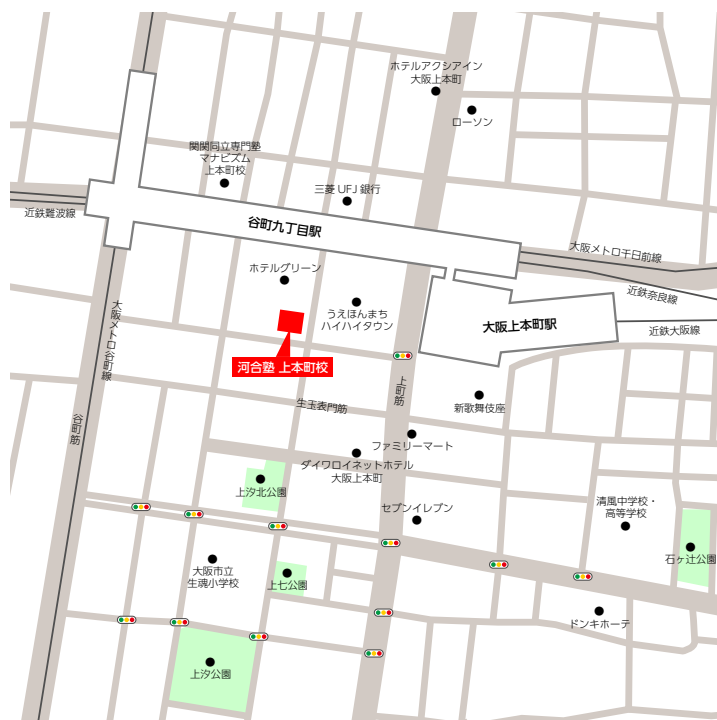
アクセス JR「静岡」駅下車、北口より徒歩8分
静岡鉄道「新静岡」駅下車、徒歩3分



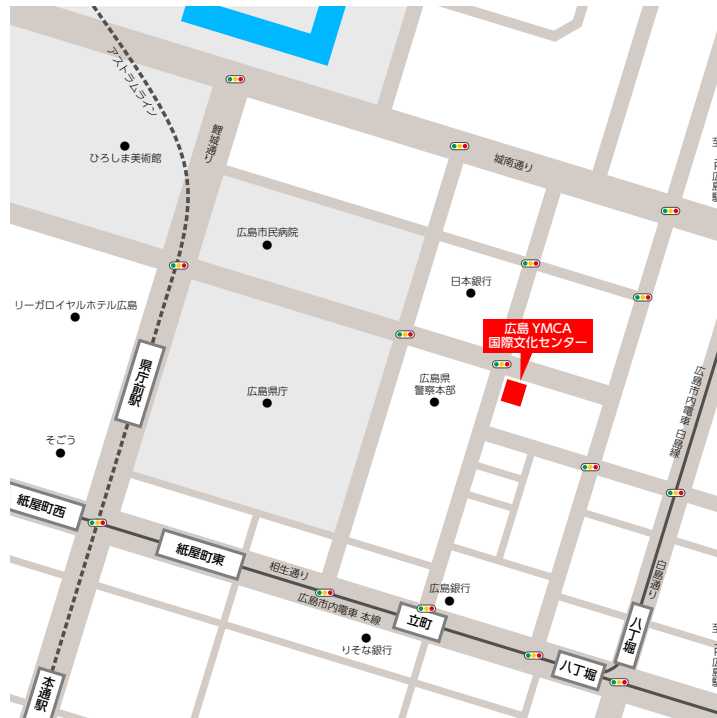
会場名 名古屋
施設名 名城大学 天白キャンパス 共通講義棟東
住所 名古屋市天白区塩釜口1-501
アクセス 地下鉄鶴舞線「塩釜口」駅下車、1番出口（右）より徒歩4分
入場は正門のみ



会場名 大阪
施設名 河合塾 上本町校
住所 大阪市天王寺区上汐3-1-11
アクセス 大阪メトロ谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅下車、5号出口から徒歩2分
 近鉄「大阪上本町」駅下車、徒歩2分



会場名 広島
施設名 広島YMCA国際文化センター
住所 広島市中区八丁堀7-11
アクセス 広島市内電車「立町」電停下車、徒歩3分
 アストラムライン「県庁前」駅下車、徒歩5分、JR「広島」駅から
 タクシー10分



会場名 福岡
施設名 天神チクモクビル
住所 福岡市中央区天神3-10-27
アクセス 地下鉄「天神」駅下車、西1番出口から徒歩6分



学部・学科別入試一覧

各学部・学科(専攻)における入試方式、募集人員、試験教科・科目等の一覧です。

【表の見方】

【表の見方】

科目

教科

試験日	学部	学科・専攻	入試方式	募集人員	昨年度入試結果				受験科目・配点							合否判定方法			備考		
					志願者数	受験者数	合格者数	合格最低得点	受験科目数	受験科目内訳	外国語	国語	数学	書類選考	事前課題小論文	合否判定科目数	満点(素点)	得点換算方法			
11/30	文	哲	2教科均等配点	10	147	147	28	116.6	4	4		英語 ※1	現代の国語 言語文化 ※2	数学I・II・A・B・C ※3		必10	必10	4	220	素点	
			2教科最高得点重視		108	107	22	178.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうちの、素点の最も高い科目を2倍にする。	
			2教科英語重視		25	25	6	183.1	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	

■ 募集人員

入試方式ごとに割り当てられた定員。複数方式でまとまっている場合は、同一日程・科目数の他方式と合わせた募集人員となります。

■ 受験科目・配点

各科目欄には、上段に受験科目の「必須科目」と「選択科目」、下段に点数を記載しています。

■ 得点換算方法

得点は「素点」換算で判定することを示しています。

■ 受験科目数・受験科目内訳

受験に必要な科目数を表します。
受験科目内訳内の「必須科目」は受験が必須となる科目で、各科目欄で「必」と表示しています。
「選択科目1」はそれぞれの科目から各学科が指定する科目数を受験します。各科目欄では「●」で表示しています。

■ 満点(素点)

受験科目の点数を合計した満点を示しています。

■ 備考

試験内容についての補足事項を記載しています。
En … 英語外部試験(英検®・TEAP等)のスコアを英語の得点として利用することができます。詳しくはP.6を参照ください。

基礎学力テスト型入試の併願について

学部の枠を越えて、複数の学部・学科(専攻)・入試方式を併願することが可能です。

※受験する科目により学部・学科(専攻)間での併願の可否が異なります。

基礎学力テスト型入試

👉 印は第2部・イブニングコース(夜)

学部・学科(専攻)の枠を越えて、複数の入試方式を併願することが可能です。

※受験科目により、併願ができない場合があります。

試験日	学部	学科・専攻	入試方式	募集人員	昨年度入試結果				受験科目・配点								合否判定方法			備考	
					志願者数	受験者数	合格者数	合格最低得点	受験科目数	受験科目内訳		外国語	国語	数学	書類選考		合否判定科目数	満点(素点)	得点換算方法		
										必須科目	選択科目1●				英語※1	現代の国語 言語文化※2					数学I、II、A、B、C※3
11/30	文	哲	2教科均等配点	10	147	147	28	116.6	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		108	107	22	178.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
			2教科英語重視		25	25	6	183.1	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	
		東洋思想文化	2教科均等配点	10	73	73	24	105.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		53	52	18	160.3	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
			2教科英語重視		14	14	11	153.5	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	
		日本文学文化	2教科均等配点	15	209	204	35	121.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		169	164	22	188.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
			2教科国語重視		117	114	16	179.9	4	4		必100	必200		必10	必10	4	320	素点	「国語」は素点×2。	
		英米文	2教科均等配点	15	198	198	44	114.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		135	134	28	177.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
			2教科英語重視		87	84	17	184.2	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	
		史	2教科均等配点	15	322	317	60	116.0	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		244	242	48	178.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
		教育	人間発達	2教科均等配点	10	166	166	43	115.6	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点	
				2教科最高得点重視		69	69	18	178.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。
			初等教育	2教科均等配点	5	108	108	15	114.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点	
				2教科最高得点重視		81	80	11	176.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。
		国際文化 コミュニケーション	2教科均等配点	10	210	209	31	116.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		169	168	23	180.5	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
			2教科英語重視		103	100	15	187.2	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	
		東洋思想文化👉	2教科均等配点	3	6	5	5	76.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		2	2	2	163.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
		日本文学文化👉	2教科均等配点	8	9	9	6	79.5	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		9	9	8	115.2	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
		教育👉	2教科均等配点	4	6	6	4	86.0	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		8	7	4	112.2	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	

※ 出願状況および試験結果等により合格者が募集人員を下回る場合があります。

※ 募集人員について、複数方式でまとまっている場合は、他方式と合わせた人数になります。

※ 昨年度入試結果については、参考までに昨年度12月1日に実施した学校推薦入試基礎学力テスト型の同方式の結果を掲載しています(合格最低得点は偏差値換算を行った得点)。

En 英語外部試験(英検®・TEAP等)のスコアを英語の得点として利用することができます。

詳しくはP.6を参照ください。

基礎学力テスト型入試備考

※1 英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ。リスニング除く。

※2 漢文除く。

※3 数学Aは「図形の性質」「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を指定する。

基礎学力テスト型入試

🌙 印は第2部・イブニングコース(夜)

学部・学科(専攻)の枠を越えて、複数の入試方式を併願することが可能です。

※受験科目により、併願ができない場合があります。

試験日	学部	学科・専攻	入試方式	募集人員	昨年度入試結果				受験科目・配点								合否判定方法			備考		
					志願者数	受験者数	合格者数	合格最低得点	受験科目数	受験科目内訳		外国語	国語	数学	書類選考		合否判定科目数	満点(素点)	得点換算方法			
										必須科目	選択科目1 ●				英語 ※1	現代の国語 言語文化 ※2					数学 I・II・A・B・C ※3	調査書等
11/30	経済	経済	2教科均等配点 (英・数)	20	296	294	116	111.7	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科均等配点 (英・国)	10	658	656	98	114.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科最高得点重視		355	353	53	179.4	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	En	
		国際経済	2教科均等配点	20	281	281	84	108.3	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科英語重視		117	117	34	176.7	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	En	
		総合政策	2教科均等配点	20	458	457	101	110.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科英語重視		117	116	27	177.9	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	En	
		経済🌻	2教科均等配点 (英・数)	5	10	10	9	76.7	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科均等配点 (英・国)	10	20	20	15	70.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科最高得点重視		8	8	7	114.9	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	En	
		経営	経営	2教科均等配点 (英・国)	15	1233	1224	151	117.8	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En
				2教科均等配点 (英・数)	5	274	272	38	117.5	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		En
	マーケティング		2教科均等配点	10	726	724	83	118.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科最高得点重視		428	422	53	184.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	En	
	会計 ファイナンス		2教科均等配点 (英・国)	20	296	295	67	113.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科均等配点 (英・数)		118	115	37	113.4	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科最高得点重視		216	215	49	176.0	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	En	
	経営🌻		2教科均等配点 (英・国)	15	38	38	21	86.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科均等配点 (英・数)		15	15	11	83.7	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		En	
	法		法律	2教科均等配点	15	527	524	81	116.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En
				2教科最高得点重視		292	288	42	179.5	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	En
				2教科英語重視		105	102	15	188.0	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	En
		企業法	2教科均等配点	15	360	359	56	114.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		En	
			2教科最高得点重視		167	165	26	176.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	En	
			2教科英語重視		48	47	15	180.4	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	En	

※ 出願状況および試験結果等により合格者が募集人員を下回る場合があります。

※ 募集人員について、複数方式でまとまっている場合は、他方式と合わせた人数になります。

※ 昨年度入試結果については、参考までに昨年度12月1日に実施した学校推薦入試基礎学力テスト型の同方式の結果を掲載しています。(合格最低得点は偏差値換算を行った得点)

🌙 英語外部試験(英検®・TEAP等)のスコアを英語の得点として利用することができます。

詳しくはP.6を参照ください。

基礎学力テスト型入試備考

※1 英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ。リスニング除く。

※2 漢文除く。

※3 数学Aは「図形の性質」「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を指定する。

基礎学力テスト型入試

👉 印は第2部・イブニングコース(夜)

学部・学科(専攻)の枠を越えて、複数の入試方式を併願することが可能です

※受験科目により、併願ができない場合があります。

試験日	学部	学科・専攻	入試方式	募集人員	昨年度入試結果				受験科目・配点								合否判定方法			備考	
					志願者数	受験者数	合格者数	合格最低得点	受験科目数	受験科目内訳		外国語	国語	数学	書類選考		合否判定科目数	満点(素点)	得点換算方法		
										必須科目	選択科目1●				英語※1	現代の国語 言語文化※2					数学I,II,A,B,C※3
11/30	法	法律👉	2教科均等配点	10	20	20	10	86.6	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		13	13	9	132.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
	社会	社会	2教科均等配点	10	955	950	163	116.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
					345	341	91	112.3	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
		国際社会	2教科英語重視	15	185	183	50	177.3	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	
					620	612	124	115.4	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
		メディアコミュニケーション	2教科均等配点	15	707	704	111	117.0	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
					71	71	18	174.1	4	4		必100		必200	必10	必10	4	320	素点	「数学」は素点×2。	
		社会👉	2教科均等配点	15	18	18	15	71.9	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
					2教科最高得点重視	10	10	6	141.6	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。
					2教科英語重視	2	2	2	149.8	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。
		国際	グローバル・イノベーション	2教科均等配点	5	199	197	15	122.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点	
	2教科最高得点重視			189		186	15	191.7	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
	国際地域		2教科均等配点	15	300	297	53	115.7	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		245	241	32	188.7	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
	地域総合👉		2教科均等配点	5	4	4	3	102.1	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		1	1	0	*	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
	国際観光	国際観光	2教科均等配点(英・国)	25	610	608	64	117.7	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科均等配点(英・数)		46	46	11	115.7	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		328	324	35	180.6	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
	情報連携	情報連携	2教科均等配点	20	231	228	79	105.2	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		
			2教科数学重視		150	147	61	155.1	4	4		必100		必200	必10	必10	4	320	素点	「数学」は素点×2。	
	福祉社会デザイン	社会福祉	2教科均等配点	20	203	200	98	102.0	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点		
			2教科最高得点重視		101	100	49	160.3	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
			2教科英語重視		32	32	16	168.9	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	

※ 出願状況および試験結果等により合格者が募集人員を下回る場合があります。

※ 募集人員について、複数方式でまとまっている場合は、他方式と合わせた人数になります。

※ 昨年度入試結果については、参考までに昨年度12月1日に実施した学校推薦入試基礎学力テスト型の同方式の結果を掲載しています。(合格最低得点は偏差値換算を行った得点)

👉 英語外部試験(英検®・TEAP等)のスコアを英語の得点として利用することができます。

詳しくはP.6を参照ください。

基礎学力テスト型入試備考

※1 英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ。リスニング除く。

※2 漢文除く。

※3 数学Aは「図形の性質」「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を指定する。

基礎学力テスト型入試

●印は第2部・イブニングコース(夜)

学部・学科(専攻)の枠を越えて、複数の入試方式を併願することが可能です。

※受験科目により、併願ができない場合があります。

試験日	学部	学科・専攻	入試方式	募集人員	昨年度入試結果				受験科目・配点								合否判定方法			備考		
					志願者数	受験者数	合格者数	合格最低得点	受験科目数	受験科目内訳		外国語	国語	数学	書類選考		合否判定科目数	満点(素点)	得点換算方法			
										必須科目	選択科目1 ●				英語※1	現代の国語 言語文化※2					数学I・II・A・B・C※3	調査書等
11/30	福祉社会デザイン	子ども支援	2教科均等配点	5	63	62	25	103.6	4	4		必100	必100		必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		45	45	18	154.2	4	4		必100	必100		必10	必10	4	320	素点			
			2教科英語重視		22	22	9	171.1	4	4		必200	必100		必10	必10	4	320	素点		「外国語」は素点×2。	
		人間環境デザイン	2教科均等配点型	10	187	185	50	110.4	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		124	123	35	166.4	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点			
			2教科英語重視		30	30	10	173.4	4	3	1	必200	●100	●100	必10	必10	4	320	素点		「外国語」は素点×2。	
	健康スポーツ科	健康スポーツ科	2教科均等配点	15	365	362	54	112.5	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		217	214	33	175.6	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点			
		栄養科	2教科均等配点	13	86	86	18	107.4	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		57	57	12	165.0	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点			
			2教科英語重視		13	13	4	179.0	4	3	1	必200	●100	●100	必10	必10	4	320	素点		「外国語」は素点×2。	
		理工	機械工	2教科均等配点	15	148	146	73	100.3	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点	「数学」は素点×2。	
	2教科数学重視			97		95	45	155.1	4	4		必100		必200	必10	必10	4	320	素点			
	電気電子情報工		2教科均等配点	10	130	128	48	107.6	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		117	116	43	163.8	4	4		必100		必100	必10	必10	4	320	素点			
	応用化		2教科均等配点	15	117	117	72	97.1	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		89	89	55	150.8	4	4		必100		必100	必10	必10	4	320	素点			
	都市環境デザイン		2教科均等配点	10	87	84	33	99.2	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		59	58	23	162.0	4	4		必100		必100	必10	必10	4	320	素点			
	建築		2教科均等配点	15	126	122	56	100.0	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。		
			2教科最高得点重視		108	104	49	156.2	4	4		必100		必100	必10	必10	4	320	素点			
	総合情報		総合情報	メディア情報	2教科均等配点	10	147	144	28	110.9	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。
					2教科最高得点重視		116	115	22	174.6	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	
		心理・スポーツ情報		2教科均等配点	8	71	71	17	105.1	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
				2教科最高得点重視		35	34	10	177.1	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点		
		システム情報		2教科均等配点	5	102	101	32	103.5	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	
				2教科最高得点重視		84	83	28	162.8	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点		

※ 出願状況および試験結果等により合格者が募集人員を下回る場合があります。

※ 募集人員について、複数方式でまとまっている場合は、他方式と合わせた人数になります。

※ 昨年度入試結果については、参考までに昨年度12月1日に実施した学校推薦入試基礎学力テスト型の同方式の結果を掲載しています。(合格最低得点は偏差値換算を行った得点)

● 英語外部試験(英検®・TEAP等)のスコアを英語の得点として利用することができます。

詳しくはP.6を参照ください。

基礎学力テスト型入試備考

※1 英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ。リスニング除く。

※2 漢文除く。

※3 数学Aは「図形の性質」「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を指定する。

基礎学力テスト型入試

📌 印は第2部・イブニングコース(夜)

学部・学科(専攻)の枠を越えて、複数の入試方式を併願することが可能です

※受験科目により、併願ができない場合があります。

試験日	学部	学科・専攻	入試方式	募集人員	昨年度入試結果				受験科目・配点										合否判定方法			備考
					志願者数	受験者数	合格者数	合格最低得点	受験科目数	受験科目内訳		外国語	国語	数学	書類選考		合否判定科目数	満点(素点)	得点換算方法			
										必須科目	選択科目1●				英語※1	現代の国語・言語文化※2				数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・C※3	調査書等	
11/30	生命科	生命科	2教科均等配点	5	172	170	26	113.0	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		Ⓔ	
			2教科最高得点重視		130	127	19	177.7	4	4		必100		必100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	Ⓔ	
		生体医工	2教科均等配点	10	42	41	23	96.9	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		Ⓔ	
			2教科最高得点重視		48	47	25	163.3	4	4		必100		必100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	Ⓔ	
		生物資源	2教科均等配点	10	76	76	37	95.0	4	4		必100		必100	必10	必10	4	220	素点		Ⓔ	
			2教科最高得点重視		54	54	27	154.7	4	4		必100		必100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	Ⓔ	
	食環境科	食環境科	2教科均等配点	10	85	85	26	97.9	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点		Ⓔ	
			2教科最高得点重視		60	60	19	157.5	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	Ⓔ	
			2教科英語重視		17	17	5	171.2	4	3	1	必200	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	Ⓔ	
		フードデータサイエンス	2教科均等配点	10	74	73	16	108.4	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点		Ⓔ	
			2教科最高得点重視		34	33	8	158.8	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	Ⓔ	
			2教科英語重視		15	15	4	166.6	4	3	1	必200	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	Ⓔ	
		健康栄養	2教科均等配点	10	88	87	26	100.4	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	220	素点		Ⓔ	
			2教科最高得点重視		64	64	19	156.7	4	3	1	必100	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	配点100の受験科目のうち、素点の最も高い科目を2倍にする。	Ⓔ	
			2教科英語重視		21	21	7	156.7	4	3	1	必200	●100	●100	必10	必10	4	320	素点	「外国語」は素点×2。	Ⓔ	

※ 出願状況および試験結果等により合格者が募集人員を下回る場合があります。

※ 募集人員について、複数方式でまとまっている場合は、他方式と合わせた人数になります。

※ 昨年度入試結果については、参考までに昨年度12月1日に実施した学校推薦入試基礎学力テスト型の同方式の結果を掲載しています。(合格最低得点は偏差値換算を行った得点)

En 英語外部試験(英検®・TEAP等)のスコアを英語の得点として利用することができます。

詳しくはP.6を参照ください。

基礎学力テスト型入試備考

※1 英語コミュニケーションⅠ, 英語コミュニケーションⅡ, 英語コミュニケーションⅢ, 論理・表現Ⅰ, 論理・表現Ⅱ, 論理・表現Ⅲ。リスニング除く。

※2 漢文除く。

※3 数学Aは「図形の性質」「場合の数と確率」、数学Bは「数列」、数学Cは「ベクトル」を指定する。

出願の流れ

出願にあたり、以下のものを事前に準備してください。

- 「調査書」等の出願に必要な書類
※「出願書類」のページを確認し、不備がないか十分に確認してください。
- **事前にご自身で作成し、準備した小論文課題**
- インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォン
- インターネット登録に必要なメールアドレス
- 「志願票」等を印刷するための環境（プリンタ等）
- 角2封筒（市販のもの）

出願を完了するために、

1 インターネット出願登録、**2** 入学検定料の支払い、**3** 出願書類の郵送が必要です

1 インターネット出願登録

(1) 「TOYO Web Style メンバー」登録をする

本学入試情報サイトより、「TOYO Web Style メンバー」に登録をしてください。（メールアドレスが必要です。迷惑メール設定などをしている場合は、「@nyushi.toyo.ac.jp」および「@toyo.jp」からのメールが受信できるように設定してください。）

(2) 「マイページ」にログインし、インターネット出願登録をする

(1)の完了後、本学入試情報サイトからインターネット志願者専用ページ「マイページ」にログインすることができます。「マイページ」から出願登録画面にアクセスし、画面の指示に従って出願登録を行ってください。（出願登録は出願期間初日の3日前から可能です）
インターネット出願登録時に、試験科目の小論文課題登録が必須となります。小論文課題の入力が終了しなければ、インターネット出願登録を完了することができません。

(3) 「志願票」・「宛名ラベル」を印刷し、入学検定料の支払情報の確認をする

出願登録完了後、「志願票」・「宛名ラベル」をA4用紙に印刷してください。また、画面の指示に従って入学検定料の支払方法を確認してください。
（宛名ラベルとは出願書類提出先が印字された用紙です。）

※1- (2)のインターネット出願登録は出願期間最終日の23:59まで可能ですが、1の後、下記の2および3の手続が必要となりますので、時間に余裕をもって手続を行ってください。

2 入学検定料の支払い

1- (3)で確認をした支払方法に従って、入学検定料を納入する

入学検定料の支払い前にも「志願票」・「宛名ラベル」等の印刷は可能です。
郵送前に支払いが完了しているか、また志願票右上に記載の「整理番号」と支払いを行った整理番号が一致しているか、必ず確認してください。

3 出願書類の郵送

角2封筒に1- (3)で印刷した「宛名ラベル」を貼付し、出願書類を封入のうえ、郵便局の窓口から「簡易書留・速達」で郵送する※

出願期間内消印有効です。志願票は折り曲げずに封入してください。なお、出願書類に不備がある場合、出願を受理することはできません。

※本学が出願書類を受領し、内容を確認したうえで不備等がなければ、出願受付が完了します。出願受付の状況は「マイページ」で確認することができます。出願書類の確認は順次行いますので、出願受付完了となるまでに時間を要することがあります。

※インターネット出願登録時に登録した小論文課題は印刷して郵送する必要はありません。

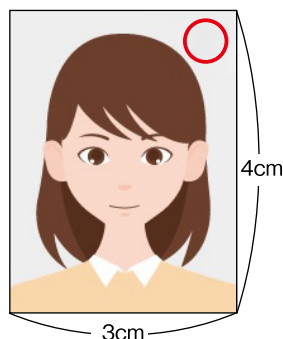
出願書類

1. 外部から取り寄せる書類は、発行までに時間を要する場合があるため、余裕をもって準備してください。
2. 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、または「マイページ」より確認の連絡を行います。志願者が確認依頼に回答しない等の事由から、大学において出願資格または出願書類についての確認が取れなかった場合には、出願を受付けません。なお、上記により出願不可となった場合において、大学からの確認依頼に応じられなかった等を理由とした出願資格の再審査等の申し出には一切応じません。

1. 志願票

- (1) 「志願票」はインターネット出願登録後、A4サイズの用紙で印刷してください。出願登録時に入力した内容が印字されていますので、内容を確認のうえ、誤りがなければ顔写真を貼付してください。なお、顔写真は所定の場所に、以下の点に注意して貼付してください。

【適切な写真の例】



- 出願時点から3カ月以内に撮影したもので、**たて4cm×よこ3cmの上半身・無帽・正面・背景の無いカラー写真(白黒不可)**。
- ピントが合っており、**肩の一部と顔全体が鮮明に写っているもの**。
- 服装は私服・制服を問いません。ただし、**提出された写真は入学後、学生証用として卒業まで使用します**。
- 受験時に眼鏡等を着用する者は、眼鏡等を着用して撮影したもの。
- 画像に加工を施していないもの。
- 光沢仕上げでプリントされたもの。**絹目(つや消し)仕上げや普通紙への印刷は不可**。
- 裏面に、志願票に印字された整理番号および氏名を記入してください(裏面がシールのものは記入する必要はありません)。

【不適切な写真の例】



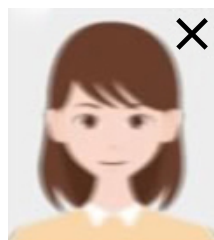
正面を向いていない



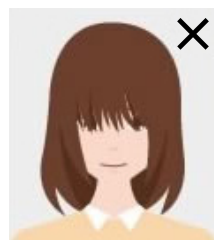
背景がある(風景、柄が写っている)



照明が反射して顔の一部が見えない



ピンボケや手振れにより不鮮明



前髪で目元が隠れている



顔に影がかかっている



サングラスを着用している、マフラーやスカーフで輪郭が隠れている



枠からはみ出ている

- (2) 氏名等の表記はJISの第2水準とします。(例：高→高など)。

※JISの第2水準ではない表記は、本学で別の表記に置き換えることがあります。

2. 調査書等＜高等学校卒業程度認定試験等合格（見込）成績証明書＞

- (1) 本学の他の入学試験に出願したことがある場合でも、基礎学力テスト型入試に初めて出願する場合は、改めて調査書＜高等学校卒業程度認定試験等合格（見込）成績証明書＞を提出してください。
- (2) 高等学校、中等教育学校の後期課程、特別支援学校の高等部のいずれかを卒業する者、高等専門学校3年次を修了する者、文部科学省により高等学校と同等と認定された在外教育施設の課程を修了する者、または文部科学大臣が指定する専修学校の高等課程を修了する者は、出願時点で3カ月以内に出身学校の校長が作成した「**調査書**」（厳封されたもの）を提出してください（「**成績証明書**」では受理できません）。既卒者は卒業後に発行されたもの（卒業見込みで発行されたものは不可）を提出してください。
- (3) 文部科学大臣が実施する高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者は「**合格成績証明書**」を、合格見込者は成績の記載された「**合格見込成績証明書**」を提出してください（「**合格証明書**」では受理できません）。提出する書類はすべて、出願時点で3カ月以内に作成されたものとします。なお、免除（見込）科目の証明書は不要です。
- (4) 「調査書＜高等学校卒業程度認定試験等合格（見込）成績証明書＞」と志願票の氏名の表記が異なる場合は、本人であることを証明する書類（戸籍謄本等）を添付してください。ただし、旧字体と略字体である常用漢字との相違についてはその必要はありません。（例：澤⇄沢）
- (5) 複数の学部・学科・専攻・方式に出願する場合でも、「調査書＜高等学校卒業程度認定試験等合格（見込）成績証明書＞」は**1通のみ提出してください（2通以上提出する必要はありません）**。また、複数回に分けて出願する場合、2回目以降の出願の際は調査書の提出は不要です。
- (6) 調査書の保存期間が経過し、出身の学校から調査書が発行されない場合は、「卒業証明書」と「**調査書が発行できないことが記載された証明書**」を提出してください。

3. 小論文（事前課題）

P.30「小論文課題」の記載に沿って作成し、インターネット出願時に入力してください。
紙で印刷した課題を出願書類に同封する必要はありません。また、紙で印刷した課題は受理しません。

4. 英語外部試験スコアの提出について

英語外部試験のスコアを利用する場合は、**インターネット出願時に、方式数にかかわらず1部提出**してください。
紙の証明書はコピーによる提出を認めます（**学校長の証明書等は必要ありません**）が、追加出願する場合も、改めて証明書の同封が必要となります。
紙の証明書は各発行機関から受験生自身の手元に取り寄せることとし、本学を指定通知先と設定した場合は、出願書類として認められません。
出願書類は返却しませんので、原本提出の際はご注意ください。
基礎学力テスト型の出願より前に東洋大学の他の入学試験に出願した方も、改めて証明書を提出する必要があります。
※デジタル証明書、紙の証明書とも、基礎学力テスト型入試の追加出願時には初回出願で提出したスコアから、別の受験回のスコアに変更することはできません。
※出願期間内に以下の証明書を提出できることが利用申請の条件となります。各外部試験のオンライン成績照会画面等のコピーの提出は一切認めません。

試験名	提出する証明書		利用可能な期間
① 実用英語技能検定 デジタル証明書、紙の証明書のいずれかを提出	デジタル証明書	デジタル合格証明書 または デジタル英検 CSE スコア証明書 ※デジタル合格証明書等のプレビュー画面を印刷したものは受理しません。 英検® 受験者マイページから取得した「共有キー」を初回のインターネット出願時に入力してください。不合格で、基準に達している CSE スコアを利用する場合は「英検 CSE スコア証明書」の発行申請が必要です。申請後、デジタル英検 CSE スコア証明書の発行までに時間を要する場合がありますので余裕をもって準備してください。	2023年12月以降に英語外部試験を受験し、対象となる入試の初回出願時までに証明書を入手できる受験回のもの
	紙の証明書	次の書類のうち、いずれか一つを提出してください。 ・実用英語技能検定合格証明書 ・英検 CSE スコア証明書 ・実用英語技能検定個人成績表 ※デジタル合格証明書等のプレビュー画面を印刷したものは受理しません。	
		OFFICIAL SCORE CERTIFICATE	
		成績表 (Official Score Report)	
② GTEC CBTタイプ GTEC 検定版 Advanced タイプ	紙の証明書	成績証明書 (Test Report Form) ※試験実施団体からの電子送信によるスコアの直送は受理しません。	
③ TEAP			
④ IELTS™			

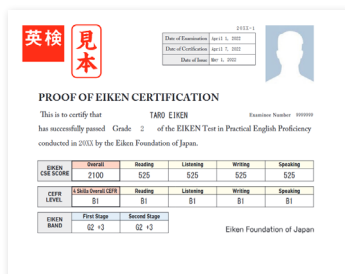
- ・各種証明書は、発行までに時間を要するものもあるので、余裕をもって準備してください。
- ・英語外部試験のスコアは、各試験実施団体に照会します。

●各種英語外部試験の証明書の見本

(各証明書の様式は受験年度、受験方法により一部異なる場合があります。)

①実用英語技能検定

・合格証明書 (和文・英文いずれも可、顔写真が無いものでも可。)



・英検 CSE スコア証明書



・個人成績表



「Certificate」部分のみのコピー、切り離したものは不可。



デジタル合格証明書、デジタル英検 CSE スコア証明書のプレビュー画面をプリントアウトしたものは受理しません。



② GTEC

・CBTタイプ OFFICIAL SCORE CERTIFICATE



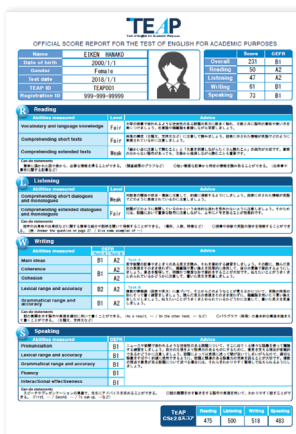
・検定版 OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

※生使用帳票「SCORE REPORT」は不可



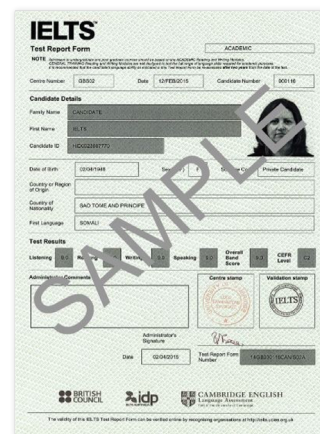
③ TEAP

・OFFICIAL SCORE REPORT



④ IELTS

・TEST Report Form



小論文課題

【提出方法】

400字以内、横書きで作成し、インターネット出願時に入力してください。

※改行、空白は文字数に含みます。全角、半角は共に1字扱いです。

小論文を含む、すべての必要事項を入力することで入学検定料の支払いが可能になります。

入学検定料の支払い後は、理由の如何を問わず入力した小論文の内容は変更できません。

(追加出願時に変更することもできません。)

紙で印刷した課題を出願書類に同封する必要はありません。また、紙で印刷した課題は受理しません。

＜課題内容＞

東洋大学の建学の精神や教育の理念の中から、1つを選び、そのことに触れながら、東洋大学でどのような学びをしたいと考えているか、自らの経験を踏まえて自分なりの考えを400字以内で述べなさい。

※ 複数の学科(専攻)・入試方式を併願する場合でも提出する小論文は1つとなります。

※ 小論文の採点は、学科(専攻)ごとの基準にて行います。また、学科(専攻)によって、基礎学力テスト(英語・国語または英語・数学)の合計点が一定の得点に達した受験生のみ、小論文の採点を行う場合があります。

※ 課題内容に関する問い合わせには一切応じません。

※ 小論文課題作成にあたり、以下の東洋大学公式サイト等を参考にしてください。

東洋大学公式サイト「東洋大学について」(<https://www.toyo.ac.jp/about/>)

出願の際の注意事項

- (1) **出願後の学部・学科(専攻)、試験日、入試方式、試験会場、英語外部試験利用申請の有無等の変更はできません。**
また、小論文課題の変更についても、出願後の変更は一切受け付けません。課題登録時に誤りがないか確認の上、登録してください。
- (2) 提出された出願書類について確認事項がある場合、大学から志願者に対して、登録された電話番号宛に、または志願者専用ページの「マイページ」より確認の連絡を行います。そのため、インターネット出願の際に登録する電話番号およびメールアドレスは、大学からの連絡を受理することが可能なものを登録してください(携帯電話の番号可)。
- (3) 出願書類は提出後の変更は認めません。
- (4) 出願書類に不備がある場合は受験できません。
- (5) 出願書類が郵送されても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は受験できません。
- (6) 出願書類の提出は原則、日本国内からの郵送に限り受け付けます。国際郵便等による海外からの郵送を行う場合は、事前に東洋大学入試部まで必ずお問い合わせください。
- (7) 理由の如何を問わず、一度提出された書類の返却は行いません。
- (8) 出願書類の記載事項に虚偽等があった場合は受験できません。
- (9) 出願後に電話番号等の個人情報を変更する場合は、志願者専用ページ「マイページ」の「個人情報変更依頼」より変更の手続を行ってください。
- (10) 入学検定料の納入の確認および出願書類の到着後、出願資格の審査を行います。審査の結果、出願資格が認められない場合は受験できません。その際は、出願時に登録された電話番号宛に、または「マイページ」にその旨を連絡します。
- (11) 合格発表後に虚偽等が発覚した場合は、入学することはできません。

出願後の個人情報変更

出願後に個人情報を変更する場合、「マイページ」で変更することが可能です。

入学検定料の支払い後、「マイページ」の「個人情報確認・変更申請」の「個人情報変更依頼」から、変更内容を入力してください。

※ 個人情報変更の反映には、時間がかかる場合があります。志願票が手元にある場合、変更依頼を行った項目の印字内容に誤りがあってもそのまま出願期間内に郵送してください。

※ システムメンテナンス等により、一時的に個人情報の変更を受付することができない場合があります。

入学検定料

1出願・2出願：一律35,000円

【3出願目以降】

1出願につき：20,000円

入学検定料の納入は、インターネット出願登録後、「試験日程」に記載されている出願期間内に、以下のいずれかの方法で行ってください。

出願期間内であっても、インターネット出願登録後、5日以内に納入がない場合は登録した出願情報が自動的にキャンセルとなります。

キャンセルとなった場合、再度出願登録を行い、志願票を再印刷してください（前回登録時の志願票は無効です）。

出願書類が郵送されていても入学検定料の納入がない場合、または入学検定料が納入されていても出願書類の郵送消印日が出願期間を過ぎている場合は、受付できません。なお、入学検定料のほかに別途サービス利用料等がかかります。

納入方法に応じて金額が異なりますので、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。

納入方法
コンビニエンスストア
ペイジー（「Pay-easy」のマークのある金融機関のATM）
インターネットバンキング
クレジットカード

※ 金融機関の窓口での納入はできません。

※ 納入方法および利用可能なコンビニエンスストア・クレジットカード、ペイジー・インターネットバンキング対応金融機関については、出願登録時に表示される「インターネット出願ガイダンス」ページで確認してください。

※ コンビニエンスストアでの支払いは、土日・祝日を問わず、営業時間内であればいつでも可能です。ただし、1回の支払い総額が30万円以上の支払いはできません。

※ クレジットカードの支払い方法は、一括払いのみとなります。クレジットカードの利用限度額を確認したうえで利用してください。なお、支払いされるカードの名義人は受験生本人でなくても構いません。

※ 入学検定料収納証明書（領収書等）は必ず保管してください（収納証明書、領収書等のコピーを送付する必要はありません）。

入学検定料の返還

一旦納入された入学検定料は事情の如何にかかわらず返還しません。

ただし、以下の1~3のいずれかに該当する場合は返還の対象となりますので、返還を申請される方は下記の申請期間にマイページから返還申請を行ってください。

1. 入学検定料を納入したが、志願票を郵送しなかった。
2. 入学検定料を納入して志願票を郵送したが、他の出願書類に不備等があり、出願が受理されなかった。
3. 東洋大学の専願のみを対象とした入学試験を出願し、本入学試験の受験が認められない場合（詳細は「出願資格」P.5を参照してください）。

【申請期間】

2025年12月1日(月)から2026年1月5日(月)まで

上記の期間にマイページ内の「入学検定料返還申請」より申請手続きを行ってください。

なお、申請期間外である場合、または申請期間内であっても上記の要件に該当しない場合は、マイページにログインしても申請手続きを行うことはできません。

【返還予定】

申請完了した月の2カ月先の末日

例: 12月25日に申請完了した場合、2月末日

※ 書類または電子メール等による返還申請には一切応じません。

※ 申請期間経過後の返還請求には一切応じません。

※ 申請の際、返還先口座の金融機関名、支店名、口座番号、口座カナ名義が記載されたもの（通帳等）の画像ファイル（jpg / jpeg）のアップロードが必要となりますので、事前に準備をしてください。なお、画像ファイルは、上記の返還先口座情報を確認できるものであれば、スマートフォン等で撮影したものでも構いません。

※ 返還先口座として、日本国外の金融機関は指定できません。

※ 指定された口座情報が誤っている、申請内容に不備がある、申請内容についての本学からの確認依頼に応答しない等の事由により、本学が申請を受理できない場合には返還しません。

※ 支払手数料は返還の対象とはなりません。

受験上の配慮

病気・負傷や障がい等のために、入学試験の受験に際して配慮を希望する場合（日常的に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験するなどを含む）は、試験会場設定や他の配慮内容との関係から、必ず下記の申請締切日までに「受験相談申請書」を記入して入試部にご相談ください。ただし、必ずしも全てのご希望に添えるとは限りませんので予めご了承ください。

また、配慮内容について大学との事前の相談を希望する場合は、「受験相談申請書」の該当欄にその旨を記入してください。入学後の修学上の配慮については、原則として入学手続後に別途申請となります。

なお、「受験相談申請書」の提出に関する詳細については下記本学入試情報サイトに掲載してあります。

東洋大学入試情報サイト → 入試情報 → 受験上の配慮について

URL <https://www.toyo.ac.jp/nyushi/admission/care>

【申請期限】

2025年9月26日(金) 17:00まで

※ 申請期限後は一切受付できませんのでご注意ください。

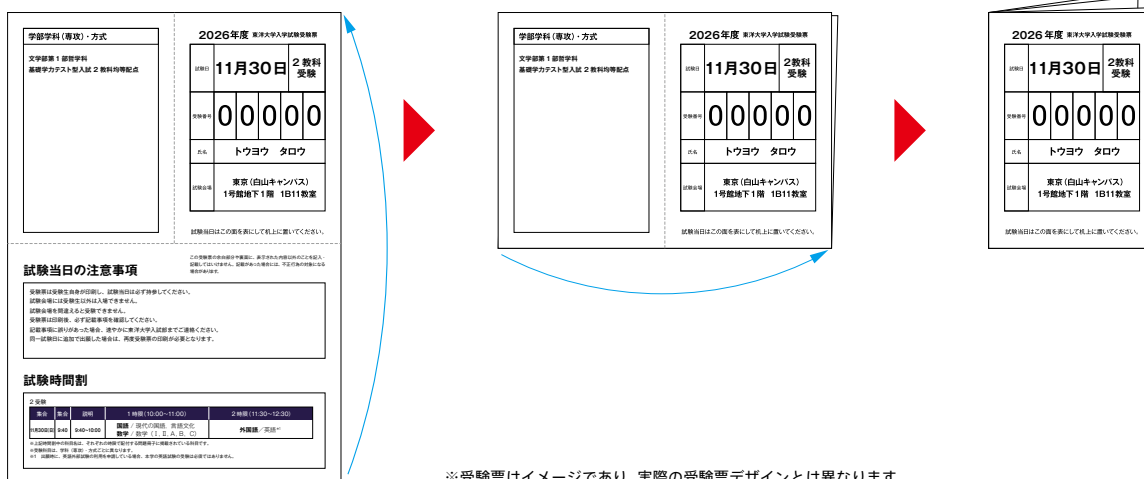
区 分	対 象 と な る 者	配 慮 事 項 (例)
視覚に関する 配慮事項	- 点字による教育を受けている者 - 両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 視力以外の視機能障がいが高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 - 上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者	- 点字解答 - 試験時間の延長 - 拡大文字問題冊子の配付 - 拡大鏡等の持参使用 - 窓際の明るい座席を指定
聴覚に関する 配慮事項	- 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 - 上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者	- 注意事項等の文書による伝達 - 座席を前列に指定 - 補聴器又は人工内耳の装用
肢体不自由に 関する配慮事項	- 体幹の機能障がいにより座位を保つことができない者又は困難な者 - 両上肢の機能障がい著しい者 - 上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者	- チェック解答 - 試験時間の延長 1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 - トイレに近い試験室で受験 - 車椅子、杖の持参使用
病弱に関する 配慮事項	慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者	1階又はエレベーターが利用可能な試験室で受験 - 杖の持参使用 - 別室の設定
発達障がいに関 する配慮事項	学習障がい、注意欠如・多動症(注意欠陥多動性障がい)、自閉スペクトラム症(自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障がい)等のため配慮を必要とする者	- 試験時間の延長 - チェック解答 - 拡大文字問題冊子の配付 - 注意事項等の文書による伝達
その他	上記の区分以外で配慮を必要とする者	- トイレに近い試験室で受験 - 座席を試験室の出入口に近いところに指定

受験票

試験会場は、必ず受験票で確認し、試験前日までに各自で交通機関の経路をご確認ください。

- 受験票の郵送は行いません。マイページの「受験・合否情報確認」から受験生**各自が印刷し、試験当日に必ず持参してください。**
- 受験票は大学の出願受付完了後に印刷することができます。出願受付完了後、登録されたメールアドレス宛にその旨をお知らせしますので、メールが届き次第受験票の印刷を行ってください。
- メールによるお知らせは11月17日(月)(予定)より順次行いますが、志願状況により、印刷可能となるまでに時間を要する場合があります。
試験日の2日前になってもメールが届かない、またはマイページから受験票を印刷することができない場合は、入試部にお問い合わせください。
- 受験票は**必ずA4サイズで印刷**してください(モノクロおよびカラー印刷のいずれでも可能ですが、縮小印刷や拡大印刷はしないでください)。
- 印刷した受験票は点線に沿って折り曲げ、右上の受験番号が記載されている面を表にして、試験当日に机の上に置いてください。
※ 印刷後、記載内容に誤りがないか必ず確認してください。特に試験会場については、出願状況により変更となる場合があるため、十分注意してください。
※ 出願受付後に同一日程で追加出願をした場合は、再度受験票の印刷が必要となります。追加出願受付完了後に再度メールでお知らせします。
※ 英語外部試験の利用申請の結果、外部試験の利用が認められた受験生の受験票には、その旨が記載されます。

受験票の折り方



試験当日の注意事項

- (1) 試験会場の所在地は「試験会場」のページで確認してください。試験会場を間違えると受験できませんので、十分に注意してください。
- (2) 各試験会場の開門時間は8時30分です。
- (3) 受験票はマイページの「受験・合否情報確認」から印刷し、必ず持参してください。試験会場または試験教室の入口で、受験票の提示が必要になります。受験票を忘れた場合、受験できない場合があります。なお、受験生の付き添い者は試験教室に入室できません。**また、付き添い者の控室はありません。**
- (4) 試験教室等は、試験当日の朝、試験会場の入口に掲示します。
- (5) 試験教室では、机の上の座席票の受験番号が受験票の受験番号と同一であることを確認して、着席してください。自分の受験番号と異なる席に着席し、受験した場合、受験が無効となる場合がありますので、十分に注意してください。
- (6) 1時限目の試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始から20分以内の遅刻に限り、受験を認めます。20分経過後は、1時限目だけでなく2時限目以降の受験もできません。**なお、1時限目を受験した場合で、2時限目以降において試験開始後20分までに試験場へ入室できない場合は、当該時限以降の受験はできません。
- (7) 試験会場には駐車場がありませんので、自動車・バイク・自転車等での試験会場への乗り入れはできません。
- (8) 試験教室では、すべて試験監督者の指示に従ってください。また、試験会場・試験教室において、他の受験生に迷惑となるような行為は禁止します。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。
- (9) **筆記用具(鉛筆・消しゴムを含む)他、物品の貸出しは一切行っていません。**
- (10) 試験が終了するまでは、特別な事情がない限り試験会場外へは出られませんので、必要に応じて昼食等を持参してください。なお、試験当日は学生食堂、売店等は営業していません。
- (11) **試験当日、試験会場近辺に合格電報・合格電話等を取り扱っている業者がありますが、本学とはまったく関係がありません。この業者に関して発生した事故について、本学は一切責任を負いませんので十分に注意してください。**
- (12) 試験教室には、時計がありません。また、携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を時計代わりに使用することはできません。必要に応じて、**時計(辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)**を持参してください。なお、時計の貸出しは行っていません。
- (13) 不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

試験当日に交通機関の乱れが生じている場合

試験当日、雪などの天候不良や事故、地震などにより交通機関の乱れが生じている場合でも、まず試験会場に向かってください。本学では追試験・再試験は行いませんので、その日のうちに必ず入学試験は行われるものと理解してください。

各試験会場への主要公共交通機関(バス・車を除く)の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないとうかがわれ、大学が判断した場合に限り、試験開始時刻を遅らせることがあります。

ただし、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験実施にあたり、学校保健安全法等で出席の停止が定められている感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の蔓延が確認された場合、関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合があります。

また、感染症に罹患し治癒していない受験者が確認された場合、同じく関係行政機関等の対応を考慮した上で、試験実施について具体的な措置をとる場合もあります。なお、試験実施について措置がとられた場合でも、それに伴う受験者の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。

詳細については措置内容が決定した後、本学入試情報サイトに随時掲載しますので、各自で確認をしてください。

受験生の皆さんへお願い

- (1) 入学試験会場での感染症(新型コロナウイルス・インフルエンザ等)の感染を防ぐため、必要に応じて各自でマスクを用意してください。
- (2) 咳・くしゃみが出る場合は、マスクを着用する、咳エチケットを守るなど周囲の受験生への感染防止に配慮してください。
- (3) 休憩時間中他、ドア・窓等を開放して外気との換気を行う場合があります。寒暖については各自、体温調整が可能な服装で受験してください。
- (4) 感染症等の感染を防ぐため、必要な指示および措置を講じる場合は、決定次第、東洋大学入試情報サイト(<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/>)等にてお知らせします。

試験時間中の注意事項

受験票等所持品の扱い

- (1) 「受験票」は右上の受験番号が記載されている面を表にして、点線に沿って十字折りし、必ず机の上に置いてください。
- (2) 「受験票」の他に試験時間中、机の上に置けるものは、次のとおりです。

- ・黒鉛筆 (HB または B に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、鉛筆キャップ
- ・シャープペンシル (HB または B の黒い芯に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。)、芯ケース
- ・プラスチック製の消しゴム
- ・鉛筆削り (電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
- ・時計 (辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。)
- ・眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー (袋又は箱から中身だけ取り出したもの。)

- (3) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」などの用具は使用できません。
- (4) **アラーム機能のついた時計は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除してください。**
- (5) 「携帯電話」「スマートフォン」「ウェアラブル端末等の電子機器類」は、試験教室に入る前に必ずアラームの設定を解除し、電源を切ってかばん等に入れておいてください。試験時間中にこれらをかばん等にしまわず、身に付けていたり、手に持っている
と不正行為とみなされることがあります。アラームは、設定を解除しないと電源を切っていても鳴ることがありますので、注意
してください。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音などが発生した場合には、監督者
が本人の了解を得ずにかばん等を教室外に持ち出し、実施本部で当該試験時間終了まで保管します。
- (6) 「耳せん」は、試験監督者の指示等が聞き取れないことがありますので、使用できません。
- (7) **試験教室内で、「英文字」「地図」「格言」等がプリントされている衣服等は着用しないでください。着用している場合には、脱
いでもらうことがあります。また、帽子・マフラーは原則として使用できません。**
- (8) 「座布団」「クッション」「タオル」「ひざ掛け」「手袋 (多汗症用を含む。)」の使用を希望する場合は、試験開始前に試験監督者
に申し出て、許可を受けてから使用してください。

解答上の注意

- (1) 指定された科目等以外での受験は認めません。また、出願した学科・入試方式において、必要なすべての時限を受験していな
いと、失格となります。
- (2) 解答用紙に科目等の選択欄がある場合は、受験する科目等について必ずマークしてください。マークがされていない場合、選
択できない問題をマークした場合、マークが薄い場合または複数にマークされている場合は、0点となり、合否判定科目から除
外されます。
- (3) マーク式解答用紙の解答には、必ず「黒鉛筆 (HB または B)」または「シャープペンシル (HB または B の黒い芯)」を使用してくだ
さい。解答を消す場合は「プラスチック製の消しゴム」を使用してください。
- (4) マーク式解答用紙の解答において、上記(3)で指定している以外の筆記用具 (「万年筆」「ボールペン」等) を使用して解答した場
合には、解答が正しく読み取れないことがありますので、使用しないでください。

試験時間中の退室

試験時間中は試験終了までは退室を認めません。試験中の発病またはトイレ等やむを得ない場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従ってください。

ただし、一時退室が認められた場合でも、一時退室した分の試験時間の延長は認められません。

試験時間中の試験監督者の指示

試験時間中は、試験監督者の指示に従ってください。従わない場合は不正行為とみなし、退室させることがあります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

不正行為

次の行為は不正行為となることがあります。不正行為となった場合は、それ以降の受験はできません。また、既に受験した科目の受験も無効となります。なお、その場合における入学検定料の返還の求めには応じません。

- (1) カンニング(カンニングペーパー・参考書・他の受験生の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- (2) 「下敷き」「そろばん」「電卓」「グラフ用紙」「定規」など、使用を禁じられた用具を使用して問題を解くこと。
- (3) 試験開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めること。
- (4) 配付された問題冊子をその試験時間が終了する前に試験教室から持ち出すこと。
- (5) 試験終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。
- (6) 試験時間中に、出題内容、あるいは解答を教えるなど他の受験生が有利となるような行為をすること。
- (7) 試験時間中に携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末等の電子機器類を身に付けていること。
- (8) 試験時間中に携帯電話や時計等の音(着信・アラーム・振動音など)を鳴らすこと。
- (9) 試験会場において他の受験生の迷惑となる行為をすること。
- (10) 試験会場において試験監督者等の指示に従わないこと。
- (11) その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

その他の注意事項

- (1) 試験時間中に監督者が受験生の顔の確認を行います。マスクの着用等により本人確認できない場合、一時的に外す等の指示をすることがあります。
- (2) 試験時間中に日常的な生活騒音等(監督者の巡視による足音・監督業務上必要な打合せ、航空機・自動車・風雨・空調の音、周囲の受験生の咳・くしゃみ・鼻をすする音、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、周囲の建物のチャイム音など)が発生した場合でも救済措置は行いません。
- (3) 机、椅子、空調等の試験教室による相違は一切考慮しません。

合格発表

- 合格発表はマイページにて行います。合格発表日後に、マイページの「受験・合否情報確認」から合否結果を確認してください。また、本学入試情報サイトに公開予定の「合格者受験番号一覧」に合格者の受験番号を掲載します。合格発表の公開開始時間は、マイページ、合格者受験番号一覧とともに、合格発表日の10:00を予定しています。
※合格発表の開始直後はアクセス集中に伴い、マイページにログインしづらくなる場合があります。
- 郵送による合格通知書の発送は行いません。合格通知書はマイページの「受験・合否情報確認」から必要に応じて印刷し、各自保管してください。
※合格通知書には、重要な個人情報が記載されています。SNS等で絶対に公開しないようにしてください。
※合格通知書は、2026年4月5日(日)まで確認(印刷)が可能となります。
- 合否結果に関する問い合わせには、一切応じません。また、マイページからの出力以外の方法による合格通知書発行の申し出にも応じません。
- 入学試験の成績開示については、2026年3月に本学入試情報サイトにてお知らせします。
- 合否結果確認後、合格し、入学手続を行う場合も、マイページ「受験・合否情報確認」から行うことができます。

入学手続

マイページの「受験・合否情報確認」から手続をする学部学科・専攻の入学手続サイトにアクセスし、入学手続締切日まで入学手続を行ってください。手続方法の詳細は、**入学手続サイト画面に掲載される「入学手続のしおり」を必ず確認し、「納付金納入手続」と「オンライン入学手続(学生情報の登録)」の両方を行ってください。**

1. 入学手続には **A.一括入学手続** と **B.2段階入学手続** の2つの方法があります。いずれかの方法を選択してください。

A.一括入学手続

すでに本学への入学を決めている場合の手続方法です。

入学手続締切日までに、入学手続サイトで、以下の手続を行ってください。

- 入学する学部学科・専攻の「納付金納入手続」の画面より、手続方法「一括入学手続」を選択し、納付金を納入してください。
- 入学する学部学科・専攻の「オンライン入学手続」の画面より、一括入学手続に必要な項目を入力してください。

<入学手続締切日> 2025年12月19日(金)

B.2段階入学手続

他大学または本学の複数学部・学科を併願しているなど、入学辞退の可能性のある場合の手続方法です。

2段階入学手続には、第1次手続(入学申込手続)と第2次手続(本手続)の手続が必要となります。

入学手続締切日までに、入学手続サイトで、以下の手続を行ってください。

・第1次手続(入学申込手続)

- 手続する学部学科・専攻の「納付金納入手続」の画面より、入学申込金(入学金相当額)のみを納入してください。
- 手続する学部学科・専攻の「オンライン入学手続」の画面より、第1次手続(入学申込手続)に必要な項目を入力してください。

<入学手続締切日> 2025年12月19日(金)

※入学申込金は第2次手続(本手続)を行った場合には入学金に充当します。

・第2次手続(本手続)

- 入学する学部学科・専攻の「納付金納入手続」の画面より、入学申込金(入学金相当額)を除く納付金を納入してください。
- 入学する学部学科・専攻の「オンライン入学手続」の画面より、第2次手続(本手続)に必要な項目を入力してください。

<入学手続締切日> 2026年2月27日(金)

2. 納付金の納入は、以下のいずれかの支払方法を選択することができます。

支払方法
コンビニエンスストア
ペイジー（「Pay-easy」のマークのある金融機関のATM）
インターネットバンキング
クレジットカード
銀行振込

※ いずれの支払方法を選択しても、手数料・サービス利用料がかかります。支払方法等の詳細は、「入学手続のしおり」で確認してください。

※ 銀行振込を選択した場合は、「振込依頼書」を印刷し、金融機関の窓口での手続となります。

3. 入学手続締切日までに上記手続が完了しない場合は、当該合格者に入学の意思がないものとみなし、締切後の入学手続は一切受け付けません。入学手続未完了者に対して個別に手続催告等の通知は行いませんので、各自の責任で手続を完了させてください。

4. 納入した入学金および入学申込金は、「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。

5. 納入した入学金を除く納付金は、入学辞退が認められた場合にのみ返還します。それ以外の場合には、誤入金等を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。振替もできません。ただし、学費振替制度が適用される場合は、この限りではありません（P.40「学費振替制度」を参照）。

繰上合格について

繰上合格は、正規合格者の入学手続状況により募集人員に満たない場合にのみ実施します。繰上合格候補者には、合格発表当日に「マイページ」の「受験・合否情報確認」にて候補者になった旨を通知します。ただし、**すべての入試方式等において繰上合格を実施するとは限りません**。また、繰上合格を実施する場合でも、**必ずしも繰上合格候補者全員が合格となるものではありません**。

繰上合格発表方法・日程について

繰上合格は「マイページ」にて発表を行います。ただし、**繰上合格発表日によって入学手続方法が異なります**。

※ 「マイページ」の「受験・合否情報確認」から合否結果を確認してください。なお、繰上合格の対象とならなかった場合は、繰上合格候補者になった旨が記載されたページのままとなります。

※ 繰上合格者のみ合格発表日時より「合格通知書」の確認・印刷および入学手続を行います。

一括入学手続と2段階入学手続が選択可能な繰上合格発表日

繰上合格発表日時	第1次手続締切日（入学申込手続）	第2次手続締切日（本手続）
2025年12月23日（火）10:00～	2026年1月19日（月）	2026年2月27日（金）

※ 第1次手続締切日に一括入学手続を行うことも可能です。

一括入学手続のみの繰上合格発表日

繰上合格発表日時	入学手続締切日
2026年3月3日（火）10:00～	2026年3月10日（火）

※ 一括入学手続のみ選択できます。2段階入学手続は選択できません。

その他

1. 繰上合格候補者の中での順位は公表しません。

2. 電話による問い合わせには一切応じません。また、確認忘れ、誤操作、見間違い、不在等を理由とした繰上合格の取り扱い手続には応じません。

3. 繰上合格者で、先に合格している本学の他学科・他専攻に入学金や学費を納入している場合は、すでに納入した入学金や学費を、繰上合格した学科・専攻に振り替えることができます（P.40「学費振替制度」を参照）。

学費振替制度

本学の学部学科・専攻に合格し、入学金（入学申込金）や学費の納入を終えた後、他の学部学科・専攻に合格し、かつその学部学科・専攻に入学を希望する場合は、本人の申し出により支払い済みの納付金を振り替えることができる制度です。ただし、制度が適用される方の条件は、以下のとおりです。以下の①②いずれかに当てはまらない方は、対象になりません。

〈適用の条件〉

- ① 繰上合格発表により合格となった方
- ② 第1部（昼）の学部から第2部・イブニングコース（夜）への変更を希望する方

※ 本学の専願のみを対象とした入学試験の入学金（入学申込金）・学費は一切振り替えることはできません。

※ 併願可能な入試方式でも、適用の条件に当てはまらない場合は、振り替えることはできません。

※ 再振替（振替手続後の取消）は一切認めません。

※ 学費振替制度の詳細は、入学手続サイト画面に掲載している「入学手続のしおり」に記載します。

入学手続後の入学辞退と納付金の返還

本学への入学手続を完了した後に、以下の理由で本学が定める手続により入学辞退の届出をした者には入学辞退を認め、**入学金を除く納付金**を返還します。

- ・ 病気やけが、経済的困窮等により就学が困難になった場合
- ・ 出願資格または大学入学資格を取得見込で受験し、入学時まで要件を満たせなかった場合
- ・ 合格発表後等に出願資格及び出願資格審査に関わる書類に虚偽の記載があることが判明した場合
- ・ その他やむを得ない事情により、入学を辞退する場合

詳細は、入学手続サイトに掲載している「入学手続のしおり」に記載します。

〈入学辞退届出の期限〉

2026年3月31日（火）

学費振替および返還についての問い合わせ先

東洋大学 経理部財務課

E-mail mlgakuhi@toyo.jp

納付金

2026年度入学生 納付金内訳(予定)

(単位:円)

			入学手続時 必要額	入学後 ＜10月＞	学費					その他の費用	初年度納付金 合計
			入学金 (入学申込金)	授業料	一般施設 設備資金	実験実習料	教育充実料	雨水会費			
第1部	文学部	教育学科 初等教育専攻	830,000	575,000	250,000	900,000	250,000		5,000	1,405,000	
		教育学科初等教育 専攻を除く全学科	760,000	505,000	250,000	790,000	220,000		5,000	1,265,000	
	経済学部・経営学部・法学部		760,000	505,000	250,000	790,000	220,000		5,000	1,265,000	
	社会学部	社会学科	760,000	505,000	250,000	790,000	220,000		5,000	1,265,000	
		国際社会学科・ 社会心理学科	767,500	512,500	250,000	790,000	220,000	15,000	5,000	1,280,000	
		メディアコミュニ ケーション学科	765,000	510,000	250,000	790,000	220,000	10,000	5,000	1,275,000	
	国際学部・国際観光学部		795,000	540,000	250,000	860,000	220,000		5,000	1,335,000	
	情報連携学部		965,000	710,000	250,000	1,100,000	320,000		5,000	1,675,000	
	福祉社会 デザイン学部	社会福祉学科・ 子ども支援学科	810,000	555,000	250,000	830,000	240,000	40,000	5,000	1,365,000	
		人間環境 デザイン学科	900,000	645,000	250,000	890,000	300,000	100,000	5,000	1,545,000	
	健康スポーツ 科学部	健康スポーツ科学科	880,000	625,000	250,000	870,000	300,000	80,000	5,000	1,505,000	
		栄養科学科	905,000	650,000	250,000	920,000	300,000	80,000	5,000	1,555,000	
	理工学部		972,500	717,500	250,000	1,090,000	260,000	85,000	5,000	1,690,000	
	総合情報学部		920,000	665,000	250,000	1,030,000	260,000	40,000	5,000	1,585,000	
	生命科学部・食環境科学部		985,000	730,000	250,000	1,020,000	360,000	80,000	5,000	1,715,000	
第2部・イブニングコース			445,000	265,000	180,000	430,000	100,000			710,000	

《備考》

- ・入学手続時に必要な納付金は、「入学金」と「学費(入学金以外)の1/2」と「その他の費用」です。
- ・入学金の納入は、初年度のみです。
- ・納入した入学金は、「東洋大学の合格した学部学科・専攻に入学し得る地位を取得するための対価」としての金員であるため、入学を辞退した場合を含め、事情の如何にかかわらず返還しません。また提出した書類は返還しません。
- ・その他の費用については、各団体からの依頼に基づき、本学が代理徴収しています。
- ・上記の金額は納入予定額のため、変更となる場合があります。
- ・上記の表は全学部・学科の納付金を掲載しています。入試方式によって募集学部・学科は異なります。
- ・文学部史学科に入学される方は、学会費が別途6,000円必要となります。
- ・社会学部国際社会学科に入学される方は、1年次に1週間程度の国内外での国際社会体験演習に参加するため、これに伴う費用(交通費・宿泊代・教材費・食費等)国内10万円程度、海外30万~35万円程度(長期プログラム希望者は35万~40万円程度)が別途必要になります。
- ・入学後の履修科目・所属コースによっては、各種実習料が必要となる場合があります。
- ・所定の修業年限を超えた方は、納付金額が変更となる場合があります。
- ・納付金についての最新情報は、東洋大学ホームページで確認してください。

高等教育の修学支援新制度について

「高等教育の修学支援新制度」は日本学生支援機構の給付奨学金と大学による授業料等減免からなる国の経済支援制度で、東洋大学は対象機関に認定されています。当制度について、高校等在学中に予約採用を申し込み、本学の出願時に所定の手続を行うことにより、本学が当制度の支援対象、あるいは対象になり得ると確認ができた方は、入学手続時に徴収する授業料等の事前減免、または納付猶予を適用します。

●納付金について(入学金・授業料)

A. 高校等の予約採用に申し込み、出願時に「令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知」を提出した方

入学金：入学手続時には正規の金額をお支払いください。入学後、所定の手続を行うことにより、支援区分に応じた減免相当額を還付します。

授業料：入学手続時には、支援区分に応じて、事前に減免された金額をお支払いください。

※採用候補者決定通知の提出後、何らかの事由で支援区分が変更になった場合も、原則、出願登録時の支援区分に応じて減免します。変更前後の支援区分で差額が生じる場合は、入学後に還付または追加徴収します。

入学金および授業料以外の納付金(一般施設設備資金、実験実習料、教育充実料、雨水会費(第1部のみ))：本支援制度による減免の対象に含まれません。正規の金額をお支払いください。

B. 高校等の予約採用に申し込んでいるが、出願時に「令和8年度大学等奨学生採用候補者決定通知」を受け取っていないため提出ができず、大学による支援区分の確認ができない方

入学金：入学手続時には正規の金額をお支払いください。入学後、所定の手続を行ったうえで、奨学金の採用が確定した場合は支援区分に応じた減免相当額を還付します。

授業料：入学手続時の支払いを猶予します。猶予した授業料は入学後、所定の期日までに支援額を減免した金額を納入いただきます。

所定の期日までに納入がなかった場合、履修状況にかかわらず、4月30日付で除籍となり、その後の修学継続はできません。なお、本支援制度に採用されなかった場合は、所定の期日までに正規の金額を納入いただきます。

入学金および授業料以外の納付金(一般施設設備資金、実験実習料、教育充実料、雨水会費(第1部のみ))：本支援制度による減免の対象に含まれません。正規の金額をお支払いください。

上記A・Bに該当する場合、次ページの「申請方法」に従い、インターネット出願時に登録、必要書類をアップロードしてください。

- 郵送による受付はいたしません。
- 「大学等奨学生採用候補者」は、進学届の手続等、入学後に所定の手続を完了することで「日本学生支援機構奨学生」として正式に採用されます。入学後、大学が定める期日までに手続が完了しない場合は、奨学金を受給することができず、正規の納付金を納入いただくことになりますので十分注意してください(※)。
- 入学後の手続の詳細については、3月下旬以降に本学ホームページで周知します。

※大学が定める期日までに納入できない場合、4月30日付で除籍となります。

C. 高校等の予約採用に申し込んでいない方

入学手続時の納付金について事前減免、納付猶予は適用できません。入学手続締切日までに正規の金額を納付いただきます。本学入学後に在学採用の手続を行い、採用となった場合は支援区分に応じた減免相当額を還付します。

★本制度の詳細については、文部科学省特設サイト・独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)ホームページにてご確認ください。

★東洋大学において、支援区分(第Ⅳ区分)の「理工農系」の対象となる学部・学科専攻は以下の通りです。

情報連携学部(全学科)、健康スポーツ科学部(栄養科学科)、理工学部(全学科)、総合情報学部(全学科・専攻)、生命科学部(全学科)、食環境科学部(全学科)

★授業料減免の金額等の詳細については、本学ホームページをご覧ください。

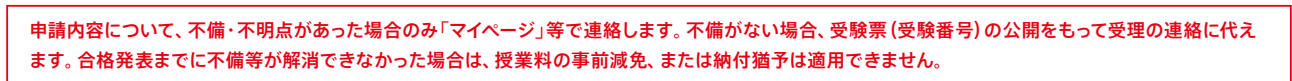
<https://sites.google.com/toyo.jp/gakubu-scholarship/sc/index/jasso-kyufu>



高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構給付奨学金）について高校等で予約採用を申し込み、2025年10月～12月に行われる試験を受験する方は、下記を参照してインターネット出願時に登録、必要書類のアップロードを行って申請してください。

所定の申請を行わなかった場合は授業料等の事前減免または納付猶予を行うことができません、入学手続時には正規の金額を納付いただくことになります。

なお、入学金は申請の有無に関わらず、減免はできません。一律、入学後に所定の手続を行うことで減免相当額を還付します。



教育ローン等について

学資を準備するための制度として、日本政策金融公庫による「国の教育ローン」や、本学と金融機関との提携による「東洋大学教育ローン」があります。ただし、教育ローンの利用が間に合わないことを理由に、入学手続が遅れることは認められません。融資までにかかる時間等の詳細は、必ずご自身で事前に各問い合わせ先にご確認ください。

【国の教育ローン】

問い合わせ先：日本政策金融公庫

※申込目安は、必要時期の2～3カ月前です。詳細は問い合わせ先にご確認ください。

【東洋大学教育ローン】

● 提携先金融機関

三井住友銀行

問い合わせ先：ネットローンプラザ 電話：0120-338-555

楽天銀行

問い合わせ先：教育ローン専用ダイヤル 電話：0120-61-6910

提携校コード：TYU00074 申込コード：1001

※本制度は、東洋大学へ確実に入学する方が対象となります。また、確実な返済計画を立てたうえでお申し込みください。

※申込目安は、必要時期の1～2週間前程度です。詳細は問い合わせ先にご確認ください。

【その他の入学諸費用の支援制度】

教育ローンの他にも、以下のような支援制度があります。詳細は各問い合わせ先にご確認ください。

生活福祉資金貸付制度（厚生労働省）

問い合わせ先：お住まいの市区町村の社会福祉協議会

母子父子寡婦福祉資金貸付金（子ども家庭庁）

問い合わせ先：お住まいの市区町村の福祉担当窓口

なお、入学後の奨学金については、本学ホームページをご覧ください。教育ローンのように、入学前に事前に本学で手続可能なもの（給付・貸付両方）はございませんので、あらかじめご了承ください。

・ウェブサイト：https://www.toyo.ac.jp/campuslife/student_support/award/gakubu/

※高等教育の修学支援新制度については、該当ページをご確認ください。

在留資格（日本国以外の国籍を有する者）

本学に入学を許可された外国人学生は、「留学」の在留資格を申請することができます。ただし、2026年4月1日時点で「留学」または他の中長期在留資格を取得していない場合は原則として入学することはできません。

日本国以外の国籍を有する志願者が、第2部・イブニングコース(夜)へ入学した場合、在留資格「留学」を取得することはできません。

詳しくは、こちらのWebサイトを出願前に必ず確認してください。

<https://www.toyo.ac.jp/academics/international-exchange/enroll/prearrival/#anc06>

●有効な在留資格がある場合（日本に居住している方）

(1) 「留学」の在留資格を有している場合

すでに「留学」の在留資格がある場合、現在の在留資格期限に応じて在留期間更新許可申請を行ってください。詳しくは、「入学手続のしおり」を確認してください。

ただし、下記項目に該当する場合は、一度出国し、以下「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を求める場合があります。この場合、本学では「留学」の在留期間更新許可申請は行いません。

① 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、前の教育機関の課程修了(卒業)から本学への入学までの期間が3カ月以上あいている場合

② 本学入学前に在籍している教育機関で「留学」の在留資格を取得しており、時期に関係なく前の(または現在在籍している)教育機関の課程を修了(卒業)せずに退学をした(またはする予定)場合等、本学が在留期間更新許可申請は不適切と認めた場合

※事情により、「在留資格認定証明書」の交付が2026年4月1日の入学に間に合わない場合もありますが、授業を欠席する等に伴う不利益について、本学は一切の責任を負わないものとしますので、ご注意ください。

(2) 「短期滞在」の在留資格を有している場合

「短期滞在」の在留資格では、大学に在籍することができません。入学前に「留学」の在留資格を取得する必要がありますので、「有効な在留資格がない場合」と同じ手続を行ってください。

(3) 「留学」「短期滞在」以外の有効な中長期在留資格を有している場合

2026年4月1日時点で「定住者」「家族滞在」等の有効な中長期在留資格を有していれば、大学に在籍することができます。ただし、授業料減免や奨学金受給等の各種支援制度の利用を希望する場合は、「留学」の在留資格が必要です。「留学」への在留資格変更を希望する場合は「在留資格変更許可申請」の手続をしてください。手続の方法は合格発表後、「入学手続のしおり」でお知らせします。

●有効な在留資格がない場合（日本に居住していない方）

日本に入国し、大学に在籍するためには、「在留資格認定証明書」の交付申請をする必要があります。交付申請の手続は、日本国内の出入国在留管理庁で①本人、②本人の親族、③経費支弁者(大学の学費等を支払ってくれる方)のいずれかが行う必要があります。本人もしくは代理人(親族または経費支弁者)が日本にいない場合、本学指定の行政書士を通して在留資格の代理申請を行うことができます。代理申請に必要な書類の提出方法については、合格発表後、「入学手続のしおり」でお知らせします。なお、「在留資格認定証明書」は、申請してから交付されるまで2~3カ月かかります。また、「在留資格認定証明書」が交付されたら、他の必要書類を用意して、自国または居住地の在外日本公館より「留学ビザ(査証)」の発給を受けてから来日してください。

※ 大学が代理申請を行う在留資格は「留学」です。

※ 代理申請には「学費支弁能力証明書」が必要です。準備には時間を要する場合がありますため、あらかじめ準備をしてください。

※ 本学で「在留資格認定証明書交付」の代理申請を希望する場合、過去の交付申請回数と不交付になった回数を正しく申し出てください。また、提出したすべての書類および入力内容等に関して、虚偽の報告により不交付になった場合、大学での再申請は受付しません。

※ 「在留資格認定証明書」については出入国在留管理庁が、ビザ取得については在住国の在外日本公館がそれぞれ審査を行います。不交付・不発給となった場合について、大学は一切責任を負いません。

問い合わせ先

出願登録時の操作に関するお問い合わせ

インターネット出願 サポートセンター
TEL 0120-752-257

2025/10/26 (日)～2025/11/4 (火) 9:00～20:00

※こちらのサポートセンターは、インターネット出願ページの操作に関するお問い合わせ専用のもとなります。東洋大学入試部にはつながりませんのでご注意ください。

1. 入学試験に関すること

東洋大学入試部

<https://www.toyo.ac.jp/nyushi/support/>

お急ぎのお問い合わせは

TEL 03-3945-7272 (直通)

9:30～13:00 14:00～16:45 (月～金曜日)

9:30～12:45 (土曜日)



2. 納付金および納付金の返還に関すること

東洋大学経理部財務課

E-mail mlgakuhi@toyo.jp

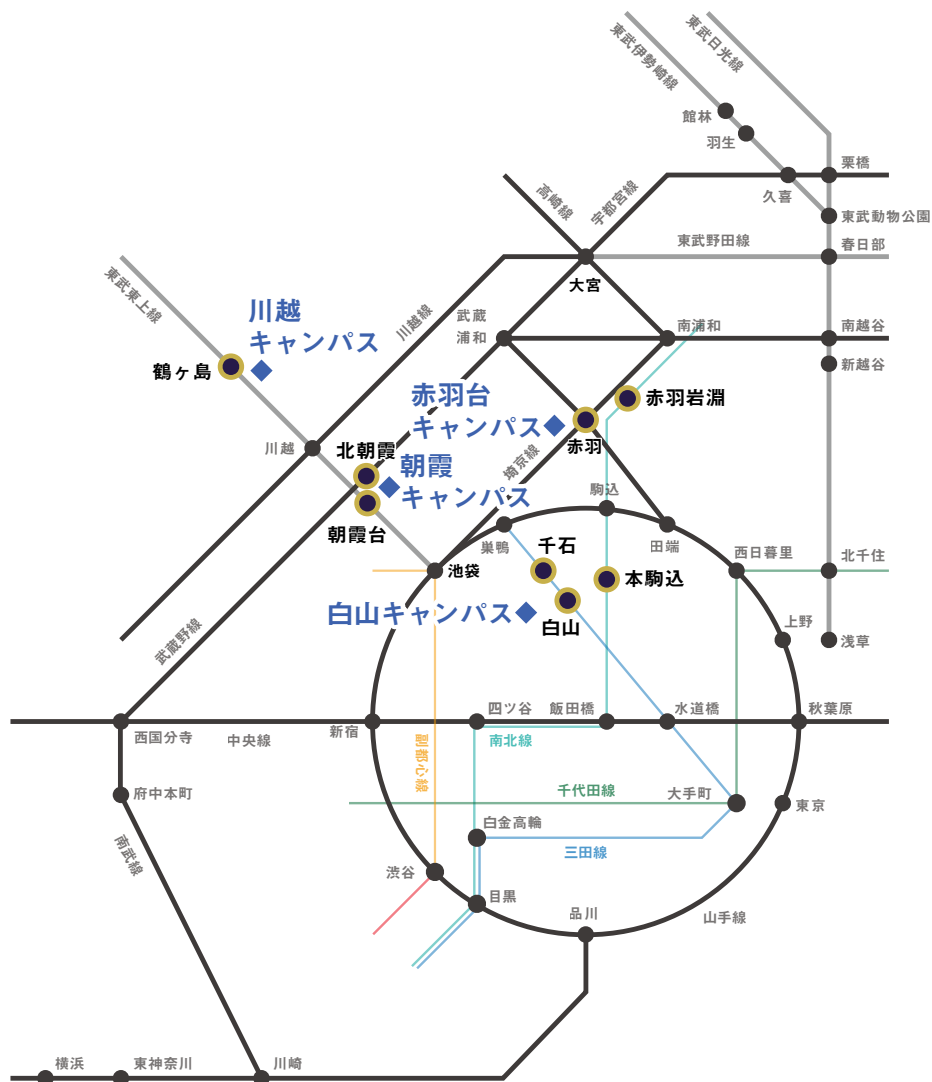
3. 在留資格、ビザ (査証) 等に関すること

東洋大学在留資格サポートオフィス

E-mail toyo-pugs@tugs.co.jp

※事務取扱日時は変更になる場合があります。

※入学手続に関しては、入学手続サイトに掲載される「入学手続のしおり」に記載の各学部教務課窓口にお問い合わせください。



交通案内

白山キャンパス

- 都営地下鉄三田線
「白山」駅下車、A3出口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線
「千石」駅下車、A1出口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線
「本駒込」駅下車、1番出口より徒歩5分

赤羽台キャンパス

- JR
「赤羽」駅下車、西口より徒歩8分
- 東京メトロ南北線 / 埼玉高速鉄道線
「赤羽岩淵」駅下車、2番出口より徒歩12分

川越キャンパス

- 東武東上線
「鶴ヶ島」駅下車、東口より徒歩10分

朝霞キャンパス

- 東武東上線
「朝霞台」駅下車、北口より徒歩10分
- JR 武蔵野線
「北朝霞」駅下車、徒歩10分



東洋大学